

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	10日		
						点検日	平成26年	7月	7日		
事務事業名	農業振興事務費					事業類型	一般事務				
担当部課G等	産産部 農政課		農業振興グループ		記入者氏名	田口 晴絵					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり					□ 実施計画 対象事業			
	施策名		1 活力ある農業の振興を図る								
	基本事業名		1 農業経営の発展								
予算科目	会計	01	款	05	項	01	目	03	事業名 農業振興事務費	根拠法令	
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)			□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)					
事業概要											
【全体概要】 農業振興事務を円滑に進めるため、茨城北農業共済事務組合や関係各協議会への負担金補助。臨時雇賃金等。					【業務内容】 茨城北農業共済事務組合、水戸農業改良推進協議会、茨城県穀物改良協会、奥久慈うまい米生産協議会等への負担金の支払い。臨時雇賃金への賃金の支払い。						

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)									
農家			農家数			人	2	3,810	3,468	3,500	3,500	
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
茨城北農業共済事務組合、水戸農業改良推進協議会、茨城県穀物改良協会等への負担金の支払い。			負担金			千円	29,231	29,231	29,127	29,127	29,127	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)									
効率的かつ安定的な農業経営が図れるよう、農業者をサポートしつつ、生産性を高め、規模拡大から認定農業者まで支援する。			認定農業者			人	84	84	87	87	87	
(2)投入量の推移						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	財源支金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	31,147	30,366	30,280	30,280	30,280	30,280	30,280	30,280	30,280	
	事業費計(A)	千円	31,147	30,366	30,280	30,280	30,280	30,280	30,280	30,280	30,280	30,280
人件費	千円	1,707	2,090	2,090	2,090	2,090	2,090	2,090	2,090	2,090	2,090	
正職員	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
正外職員	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費計(B)	千円	1,707	2,090	2,090	2,090	2,090	2,090	2,090	2,090	2,090	2,090	
投入量(A)+(B)	千円	32,854	32,456	32,370	32,370	32,370	32,370	32,370	32,370	32,370	32,370	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ			国の農業災害対策、政策保険として運営されるNOSAI制度を実施している茨城北農業共済事務組合は、那珂川以北の市町村で構成しており、農業者の安定的な農業経営を図る。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			特に変化なし。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			特になし。									

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	10日
						点検日	平成26年	6月	18日
事務事業名	農産物被害防除事業					事業類型	補助事業		
担当部課G等	産業部 農政課		農業振興グループ			記入者氏名	飛田 慎		
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり					□ 実施計画 対象事業	
	施策名		1 活力ある農業の振興を図る						
	基本事業名		2 安全な食料の安定供給						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令	那珂市イノシシ等被害防止対策事業補助金交付要項	
			05	01	03	農産物被害防除事業			
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返			□ 期間限定複数年度		(開始年度 昭和38年度～) (年度～年度)	
事業概要									
【全体概要】					【業務内容】				
・水稲における病害虫の共同防除・農作物に対するイノシシ等の被害防止及び捕獲					・共同防除の申込みや区域設定及び那珂市病害虫防除隊への補助金交付 ・防護柵や電気柵等を設置した農業者に対しての補助金交付				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
水稲稲作農家・防護柵等設置農家						農家数	人	3,810	3,468	3,500	3,500	3,500
						水稲作面積	ha	1,646	1,646	1,646	1,646	1,646
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
市内の空中散布区域水稲作付面積1,232ヘクタールのうち、実施面積731ヘクタールで8月上旬に那珂市病害虫防除隊が実施した事に対し2,924千円補助をした。 イノシシ・ハクビシン等の獣類による農作物の被害を防止するため、農業者又は農業団体が実施するイノシシ被害防止対策事業に対し、補助金を交付した。						実施面積	ha	708	731	758	758	758
						補助金額	千円	2,832	2,924	3,032	3,032	3,032
						イノシシ等被害防止対策事業補助金	千円	267	181	470	470	470
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
良質米の生産を図り、生産性を高めることにより農業所得の向上を図る。イノシシ等の被害による収穫皆無面積の削減。						1等米の比率	%	78.1	84.7	85.0	85.0	85.0
						イノシシ等被害防止対策事業実施後の被害量	ha	1	1	1	1	1
						イノシシ捕獲数	頭	86	131	150	150	150
						柵等の補助件数	件	24	15	34	34	34
(2)投入量の推移						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	財源支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	2,756	3,137	4,106	4,106	4,106	4,106	4,106	4,106	4,106	
	事業費計(A)	千円	2,756	3,137	4,106	4,106	4,106	4,106	4,106	4,106	4,106	
人件費	千円	1,744	1,686	1,686	1,686	1,686	1,686	1,686	1,686	1,686	1,686	
正規職員	千円	1,744	1,686	1,686	1,686	1,686	1,686	1,686	1,686	1,686	1,686	
正規外職員	千円	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	
人件費計(B)	千円	1,944	1,886	1,886	1,886	1,886	1,886	1,886	1,886	1,886	1,886	
投入量(A)+(B)	千円	4,700	5,023	5,992	5,992	5,992	5,992	5,992	5,992	5,992	5,992	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ						昭和38年頃から、良質米生産をするため、水稲の防除については一斉に広範囲の水稲作付圃場にならって行った方が良いとの観点から開始。 獣類による被害報告が多数寄せられ、農家の自衛意識の向上を図るため開始。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)						平成18年度より有人ヘリコプターから無人ヘリコプターの空中散布に切り替わり、個々の農家の希望により、実施する場所と実施しない場所が生じ、一斉防除ではなく個々の農家の防除作業受託の形に変化した。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)						農家からは、個々で防除を実施するのは困難なため、無人ヘリによる防除は助かるとの声がある。イノシシ等被害防止対策事業については生息範囲の拡大により補助金額の増額が要望されている。						

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) (前年度評価結果を踏まえた見直し内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table>) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table>) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
0	千円									
0	千円									
0	千円									
0	千円									

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 米の品質向上と農家経営の安定化を図るのは市の責務であり妥当である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 農家が希望する水田のみに散布を実施しているため。また、鳥獣害の増加量・移動範囲等が予測困難なため、今後発生する被害等の見込が困難であるため。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 米の品質低下が懸念される。また、現在においてもイノシシ等の被害報告がなくなるらないため。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事務費の削減は、農家の負担増となる。農家経営の安定化を図るのは市の責務である。また、イノシシ等の被害が無くなるようにするためであり削減は難しい。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 単年度で計算すると繰越金はほとんどないため、受益者負担金は適正である。鳥獣被害は自衛防衛が基本で、農家へ自衛の意識向上を図るためにも受益者負担は必要で補助率は適正である。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了 廃止 休止 統廃合
 継続 → 見直し(改革・改善) → 目的の再設定 有効性の改善 効率性の改善
 公平性の改善
 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)
現状通りで特に改革改善はない。

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	⊗
	低下		⊗	⊗

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)
 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じの場合も記入)
 家畜伝染病、農作物の病害虫、イノシシなどの鳥獣被害の予防に努める。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	5月	28日
						点検日	平成26年	7月	2日
事務事業名	担い手育成支援事業					事業類型	補助事業		
担当部課G等	産業部 農政課		農業振興グループ		記入者氏名	和地 静香			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり			■ 実施計画 対象事業			
	施策名		1 活力ある農業の振興を図る						
	基本事業名		4 担い手による農業の展開						
予算科目	会計	01	款	05	項	01	目	03	事業名 担い手育成支援事業
									根拠法令 那珂市認定農業者等経営支援補助金交付要項、那珂市農業基盤強化資金利子助成金交付要項
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要									
【全体概要】 地域農業の中心的担い手である認定農業者、集落営農組織、新規就農者等に対し支援を行う。					【業務内容】 認定農業者、農業機械士会、集落営農組織、新規就農者等の活動に要する事務及び補助金の支払い				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
(経営支援)認定農業者、農業機械士会、集落営農組織、新規就農者、茨城ほしいも対策協議会那珂支部会員 (利子補給)認定農業者						認定農業者数	経営体	84	84	87	87	87
						茨城ほしいも対策協議会那珂支部会員	経営体	43	43	45	45	45
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
認定農業者等が購入する機械等の購入費に対し、20%を補助金として交付した。認定農業者は上限100万円、規模拡大者及び特産物開発者は上限50万円。農業の経営安定を図るために、申請のあった認定農業者の利子助成を行った。						支援費補助件数(経営支援)	件	13	14	15	15	15
						支援費補助金額(経営支援)	千円	8,991	8,460	8,460	8,460	8,460
						支援費補助件数(利子補給)	件	11	9	8	7	6
						支援費補助金額(利子補給)	千円	622	552	484	424	357
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
(経営支援)認定農業者、規模拡大者、農産物開発者、茨城ほしいも対策協議会那珂支部の会員を金融面から支援し、経営基盤の強化を図ることにより、効率的かつ安定的な農業経営が図れる。 (利子補給)認定農業者を金融面から支援し、経営基盤の強化を図れるようにするとともに、農地を有効に活用し、生産性を高める。						制度活用者数(経営支援)	経営体	13	14	15	15	15
						過去に1回以上活用した対象者	%	64.3	61.4	63.6	63.6	63.6
						制度活用者数(利子補給)	経営体	8	7	7	7	6
						過去に1回以上活用した対象者	%	6.7	8.3	8.0	8.0	6.9
(2)投入量の推移						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	3,738	10,176	4,954	5,108	5,108	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0		
	一般財源	千円	10,222	9,624	9,909	9,985	9,985	0	0	0		
	事業費計(A)	千円	13,960	19,800	14,863	15,093	15,093	0	0	0		
人件費	千円	2,683	2,715	2,715	2,715	2,715	0	0	0	0		
正規職員	千円	0.55人	0.54人	0.54人	0.54人	0.54人	0	0	0	0		
正規外職員	千円	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0	0	0	0		
人件費計(B)	千円	2,683	2,715	2,715	2,715	2,715	0	0	0	0		
投入量(A)+(B)	千円	16,643	22,515	17,578	17,808	17,808						
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ						(経営支援)平成11年度に那珂市認定農業者等連絡会を設立した際、会員より要望があり、平成12年度より当事業を導入した。 (利子補給)経営規模拡大を考えている認定農業者を支援する。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)						(経営支援)認定農業者に加えて規模拡大者、特産物拡大者及び茨城ほしいも対策協議会那珂支部の会員も対象となった。 (利子補給)農業の近代化、集積化により大型機械等を購入する農家が増加してきた。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)						特になし。						

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	10日
事務事業名	遊休農地解消対策事業					事業類型	補助事業		
担当部課G等	産業部 農政課			農業振興グループ	記入者氏名	田口 晴絵			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)			第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり			■ 実施計画 対象事業		
	施策名			1 活力ある農業の振興を図る					
	基本事業名			3 農地の有効活用					
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令	那珂市遊休農地解消対策補助金交付要項	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		(開始年度 年度～) (年度～ 年度)	
事業概要									
【全体概要】					【業務内容】				
遊休農地の解消対策として、ヘアリーベッチ等の導入を普及・促進し、雑草の抑制・砂埃などの環境保全対策を図っている。また、遊休農地対策の一環として冬場の土壌飛散防止のため麦の作付けを推進している。					ヘアリーベッチ等種子代の一部助成及び規格外麦の無料配布				

1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
遊休農地			遊休農地(耕作放棄地)面積	ha	197	205	205	205	205		
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
ヘアリーベッチ種子代の一部助成 規格外麦の無料配布 ひまわり実験栽培の業務委託			種子の補助金額	千円	4	21	146	146	146		
			麦の配布数量	kg	4,250	4,250	5,000	5,000	5,000		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
農地の適正管理 環境の保全			補助対象農地面積	ha	1	2	8	8	8		
			麦作付け農地面積	ha	82	81	100	100	100		
			ひまわり作付農地面積	ha	0	0	0	0	0		
(2)投入量の推移		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画			
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	財源支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	576	451	628	328	328	0			
	事業費計(A)	千円	576	451	628	328	328	0			
人件費	千円	1,625	1,660	1,660	1,660	1,660	1,660				
正規職員			0.28人	0.36人	0.36人	0.36人	0.36人				
正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0	0.00人			
人件費計(B)	千円	1,625	1,660	1,660	1,660	1,660	1,660	1,660			
投入量(A)+(B)		千円	2,201	2,111	2,288	1,988	1,988				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ			担い手の不足や高齢化及び農産物価格低迷などにより、遊休農地が急速に増加し、雑草の繁茂や病害虫の発生源並びに土壌飛散による地力の低下等が問題となり、遊休農地の解消が課題となった。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			平成21年12月15日農地制度の改正により、遊休農地の所有者に対する指導・通知・公告・勧告までの手続を農業委員会が一貫して行うこととなった。(農業経営基盤強化促進法→農地法)								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			市民からヘアリーベッチは隣地へ種子が飛ぶ等の影響があり、取り組み難いとのこと。								

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み																	
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 	(前年度評価結果を踏まえた見直し内容) <p>遊休農地解消対策補助交付要項においてヘアリーベッチ以外(アカクローバー・菜の花)の種子も助成の対象とする。</p> (予算への反映) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 削減(事業費)</td> <td style="width: 10%; border: 1px solid black; text-align: center;">0</td> <td style="width: 40%;">千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(人件費)</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 増加(事業費)</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">52</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(人件費)</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td colspan="3"><input type="checkbox"/> 反映なし</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 削減(事業費)	0	千円	(人件費)	0	千円	<input checked="" type="checkbox"/> 増加(事業費)	52	千円	(人件費)	0	千円	<input type="checkbox"/> 反映なし		
<input type="checkbox"/> 削減(事業費)	0	千円															
(人件費)	0	千円															
<input checked="" type="checkbox"/> 増加(事業費)	52	千円															
(人件費)	0	千円															
<input type="checkbox"/> 反映なし																	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	■ 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 食料自給率向上に向けて、大きな手段として農地の効率的利用と構造改革の加速化を促進するための担い手への農地の利用集積の促進、耕作放棄地の発生予防・解消する必要がある。
有効性 評価	② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 助成対象とする種子の種類をヘアリーベッチ、ナタネ及びアカクローバーとし、取り組みやすくした。
公平性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業がない。 雑草の抑制、砂埃防止のほか、緑肥などの環境保全が期待できる。遊休農地の発生を防止するために有効に廃止または休止することはできない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 補助金である事業費を削減すると受益者の負担が増加するため、事業に取り組む農業者が減少し、遊休農地が増加することが懸念される。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求めない事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求めない事業ではない 補助金の額は25%の助成金であり、残りの75%は受益者の負担となっているため、公平な配分である。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) 	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 麦の無料配布を増やし、希望者に麦が行き渡るようにする。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">削減</td> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">成果</td> <td style="text-align: center;">向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">維持</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低下</td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じの場合も記入) 遊休農地について、土壌飛散や雑草の繁茂を防止するとともに、麦などの作付を奨励していく。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 																						

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	10日			
						点検日	平成26年	6月	18日			
事務事業名	しどりの湯管理事業					事業類型	管理・運営					
担当部課G等	産業部 農政課		農業振興グループ		記入者氏名	和田 哲郎						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第3章 健やかで生きがいをもって暮らせるまちづくり					□ 実施計画 対象事業				
	施策名		6 健康で生きがいをもって暮らせる保健体制の充実を図る									
	基本事業名		2 健康づくりの推進									
予算科目	会計	01	款	05	項	01	目	03	事業名	しどりの湯管理事業	根拠法令	余暇活用施設「しどりの湯保養センター」の設置及び管理に関する条例
事業期間	□ 単年度のみ		□ 単年度繰返 (開始年度 年度～)		■ 期間限定複数年度 (平成23年度～平成25年度)							
事業概要												
【全体概要】 余暇活用施設「しどりの湯保養センター」の建物管理を行う。						【業務内容】 余暇活用施設「しどりの湯保養センター」の維持管理及び指定管理委託業務を行う。						

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	全体計画		
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
指定管理者(H23年度～H25年度) 市直営(H26年度)		「しどりの湯」施設数	施設	1	1	0	0	0	0	
		旧「しどりの湯」施設数	施設	0	0	1	1	1	1	
②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
指定管理者制度の実施(H23年度～H25年度) 再利用までの適正管理(H26年度)		指定管理料(3年間)	千円	19,500	19,500	0	0	0	0	
		施設の管理費(H26年度)	千円	0	0	3,399	0	0	0	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
適正に管理することで利用者の増加を図る。健康に留意し生活してもらう。(H23年度～H25年度) 適正に管理する。(H26年度)		利用者数(H25年度末閉館)	人	44,752	46,841	0	0	0	0	
		報告のあった苦情・事故件数(H25年度末閉館)	件	0	0	0	0	0	0	
		健康であると感じている人の割合	%	76.0	78.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
(2)投入量の推移		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画		
事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	1,000	1,000	1,000	0	0	1,000		
	一般財源	千円	18,900	18,590	2,399	0	0	19,591		
	事業費計(A)	千円	19,900	19,590	3,399	0	0	20,591		
人件 費	正規職員	千円	2,468	2,461	2,461	0	0	0.00人	0.00人	
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0.00人	0.00人	
	人件費計(B)	千円	2,468	2,461	2,461	0	0	0		
投入量(A)+(B)		千円	22,368	22,051	5,860	0	0	0		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等										
①事業を始めたきっかけ		平成6年度に農林水産省の地域農業基盤確立農業改善事業の産地形成促進施設として国庫補助を受け、平成8年度に竣工し、開館した。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		平成20年度より3年間指定管理者制度により運営を行う。東日本大震災により修繕が必要となったため、平成23年度は休館し、施設の修繕を行い、指定管理料を見直して継続したが、平成25年度末をもって閉館となった。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		震災により休館した際、市民から再開を望む声が多く寄せられ、H24.2.10に再開したが、平成24年度に実施した事業仕分けにより「不要」と判定され、その後の検討によりH26.3.31に閉館、再利用することとなった。								

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み										
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 	(前年度評価結果を踏まえた見直し内容) <p>同様の施設が市内や近隣市町村においても運営されており、また、利用者の減少、運営に係る財政負担等を勘案し、平成25年度をもって事業を廃止した。今後は、施設の再利用の検討をしていく。</p>								
		(予算への反映) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 削減 (事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 50px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 50px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 50px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 50px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし 	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
0	千円									
0	千円									
0	千円									
0	千円									

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 閉館後の施設の再利用を検討する必要がある。
有効性 評価	② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 閉館後の施設の再利用を検討するので、余地がある。
効率性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性があり(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 「しどりの湯」は閉館したが、国庫補助を受けているため、廃止はできない。平成26年度は休止して再利用の検討をし、平成27年度に工事着手、平成28年度から施設を再利用する。
公平性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 閉館後の施設の再利用を検討するので、事業費・人件費ともに削減の余地がある。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 再利用となる施設の用途によっては、受益者負担を求める。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input checked="" type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input checked="" type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) 	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) H26.3.31をもって閉館し、今後、施設の再利用に向けて検討する。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持			×																		
	低下			×																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じの場合も記入) 現在閉館となっているが、有効活用検討委員会を組織し、施設の再利用に向けて検討する。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 																						

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	5月	30日	
						点検日	平成26年	7月	2日	
事務事業名	農地流動化促進事業					事業類型	補助事業			
担当部課G等	産業部 農政課		農業振興グループ		記入者氏名	和地 静香				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり					■ 実施計画 対象事業		
	施策名		1 活力ある農業の振興を図る							
	基本事業名		4 担い手による農業の展開							
予算科目	会計	01	款	05	項	01	目	03	事業名 農地流動化促進事業	根拠法令 農業経営基盤強化促進法 那珂市農地流動化 借り手助成金交付要項
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)				
事業概要										
【全体概要】 農業上の利用を目的とする土地についての耕作権の移動を円滑に促進するために、貸し手と借り手との間で利用権の設定をする。					【業務内容】 利用権設定等促進事業の事務及び農地流動化借り手助成金の交付					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
農業経営の改善を基本構想等に示された目標に向けて計画的に進めようとする農業者	認定農業者人数	人	84	84	87	87	87	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
利用権設定受付 利用権設定(新規)した者への助成金交付(要件有)	利用権の設定面積	ha	137	125	130	130	130	
	助成面積	ha	44	31	40	40	40	
	助成金額	千円	8,151	5,183	7,800	7,800	7,800	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
農用地の利用の集積	認定農業者の経営面積	ha	593.1	614.3	620.0	625.0	630.0	
(2)投入量の推移		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	8,462	5,331	8,093	8,093	8,093	0
	事業費計(A)	千円	8,462	5,331	8,093	8,093	8,093	0
人件 費	正規職員	千円	1,376	1,379	1,379	1,379	1,379	0.30人
	正規外職員	千円	34	34	34	34	34	0.06人
	人件費計(B)	千円	1,410	1,413	1,413	1,413	1,413	
投入量(A)+(B)		千円	9,872	6,744	9,506	9,506	9,506	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ		農業労働力の非農業部門への流出、農家の兼業化、農業従事者の高齢化が著しく進み、担い手確保において大きな問題を抱えており、農業経営に意欲と能力のある者を育成確保することが今後の農業の発展につながるよう						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		「農地流動化促進事業」として、要件および金額の変更を経て、現在新規利用権設定のみの助成を行っている。前年に引き続き法人による農業への参加と農地の集積があり利用権設定が増えてきている。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		特になし。						

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	9日		
						点検日	平成26年	7月	2日		
事務事業名	園芸振興支援事業					事業類型	補助事業				
担当部課G等	産業部 農政課		農業振興グループ		記入者氏名	飛田 慎					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり					■ 実施計画 対象事業			
	施策名		1 活力ある農業の振興を図る								
	基本事業名		2 安全な食料の安定供給								
予算科目	会計	01	款	05	項	01	目	03	事業名 園芸振興支援事業	根拠法令	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度					
		(開始年度		年度～)		(年度～		年度)	
事業概要											
【全体概要】						【業務内容】					
ひたちなか農業協同組合等と連携をし、栽培講習会や先進地視察を開催することにより、園芸振興の強化に向けての支援をする。						栽培講習会の開催や新規作物の開拓・普及並びにひたちなか農業協同組合や茨城ほしいも対策協議会(ひたちなか・東海・那珂ほしいも協議会)への補助金や負担金の支払い事務					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)			
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
ひたちなか農協那珂地区の6生産部会		部会、組織数	6	6	6	6	6			
		講習会、栽培研修会参加者数	123	115	130	130	130			
②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
ひたちなか農協那珂地区の6生産部会の活動経費の一部を補助する。 実証圃場等の設置を行い研究を行う。		補助件数	1	1	1	1	1			
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
各種研修活動を活性化し、生産技術及び知識の高度化を図り、特産品の生産拡大		講習会・栽培研修会開催回数	20	18	20	20	20			
		JA販売額	46,055	49,309	50,000	50,500	51,000			
		JA出荷量	201,289	283,428	284,000	290,000	300,000			
			0.	0.	0.	0.	0.			
(2)投入量の推移		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画		
事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	財源支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0	0	0		
	一般財源	千円	1,704	815	880	880	880	0		
	事業費計(A)	千円	1,704	815	880	880	880	0		
人件費	千円	1,538	1,530	1,530	1,530	1,530	1,530			
正規職員	千円	0	0	0	0	0	0			
正規外職員	千円	1,538	1,530	1,530	1,530	1,530	1,530			
人件費計(B)	千円	1,538	1,530	1,530	1,530	1,530	1,530			
投入量(A)+(B)	千円	3,242	2,345	2,410	2,410	2,410	2,410			
(3)事務事業の環境変化・市民意見等										
①事業を始めたきっかけ		農産物価格の低落・生産量の低下により、生産体制の強化をする必要が出てきたため。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		担い手の減少・高齢化、後継者不足、農産物価格の下落、安心・安全の意識								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		JA部会員から、この事業により正しい栽培方法や販売促進等の新たな知識が得られるため部会の必要性を感じるとの意見が寄せられた。								

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	10日
						点検日	平成26年	7月	2日
事務事業名	農業活動拠点施設管理事業					事業類型	管理・運営		
担当部課G等	産業部 農政課		農業振興グループ		記入者氏名	田口 晴絵			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり					□ 実施計画 対象事業	
	施策名		1 活力ある農業の振興を図る						
	基本事業名		1 農業経営の発展						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令	那珂市農業活動拠点施設設置及び管理に関する条例	
			05	01	03	農業活動拠点施設管理事業			
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返			□ 期間限定複数年度		(開始年度 年度～) (年度～ 年度)	
事業概要									
【全体概要】 地域農業・農村の活性化を目的とし、地産地消による地域農業の推進、地域交流・都市交流を図るための農業活動拠点施設の維持管理等を行う。					【業務内容】 ・芳野農産物直売所の維持管理 ・芳野農産工房の予約貸出し及び維持管理 ・芳野市民農園の貸出し及び維持管理 ・とんがりはっこの維持管理				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
施設利用者 市民農園						農産工房年間開館日数	日	306	307	307	307	307
						市民農園総区画数	区画	100	100	100	100	100
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
農産物直売所、農産工房、芳野市民農園の施設管理						農産物直売所利用者数	人	68.9	70.3	70.0	70.0	70.0
						農産工房利用日数	日	155	229	160	160	160
						市民農園使用区画数	区画	70	70	80	80	80
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
地域農業農村の活性化、地産地消による地域農業の推進、地域間交流を図ることにより、施設機能を維持し、利用数の増を図る。						農産工房利用率=(利用日数/年間開館日数)	%	50.7	73.6	52.1	52.1	52.1
						市民農園使用率=(使用区画数/総区画数)	%	70.0	70.0	80.0	80.0	80.0
(2)投入量の推移						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	1,203	2,560	2,560	2,560	0	0	0	0	
	一般財源	千円	6,211	3,184	3,112	3,533	3,533	0	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	6,211	4,387	5,672	6,093	6,093	0	0	0	0	
人件費	千円	1,408	1,409	1,409	1,409	1,409	0	0	0	0	0	
正職員	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費計(B)	千円	1,408	1,409	1,409	1,409	1,409	0	0	0	0	0	
投入量(A)+(B)		千円	7,619	5,796	7,081	7,502	7,502	0	0	0	0	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ						地域農業、農村の活性化、地産地消による地域農業の推進、地域交流・都市交流を図るために、農産物直売所が平成19年4月、農産工房、市民農園が平成21年4月に開設されたことにより管理をすることになった。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)						開始時期と比べ特に変化なし。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)						非農家(農園利用者)から、手軽に農業とふれあう体験をすることで作物を作る難しさ・楽しさを感じることができるため、市民農園を利用してよかったとの声が寄せられている。						

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	10日			
						点検日	平成26年	7月	2日			
事務事業名	農産物直売所宣伝活動支援事業					事業類型	補助事業					
担当部課G等	産業部 農政課		農業振興グループ		記入者氏名	田口 晴絵						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり					□ 実施計画 対象事業				
	施策名		1 活力ある農業の振興を図る									
	基本事業名		1 農業経営の発展									
予算科目	会計	01	款	05	項	01	目	03	事業名	農産物直売所宣伝活動支援事業	根拠法令	
事業期間	□ 単年度のみ		□ 単年度繰返 (開始年度 年度～)			■ 期間限定複数年度 (平成24年度～平成25年度)						
事業概要												
【全体概要】						【業務内容】						
・インターネットを利用して農業や関連イベントの紹介 ・那珂市内の直売所の紹介 ・農業者の情報発信力向上のための講習会						農業情報発信に関する業務委託						

1 現状把握の部(DOシート)																																																																																																					
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移																																																																																																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;"></th> <th style="width: 5%;">単位</th> <th style="width: 5%;">24年度 (実績)</th> <th style="width: 5%;">25年度 (実績)</th> <th style="width: 5%;">26年度 (見込)</th> <th style="width: 5%;">27年度 (計画)</th> <th style="width: 5%;">28年度 (計画)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等</td> <td colspan="6">④対象指標(対象の大きさを表す指標)</td> </tr> <tr> <td>市民</td> <td>人口</td> <td>人</td> <td>55,835</td> <td>55,986</td> <td>55,887</td> <td>55,500</td> <td>55,300</td> </tr> <tr> <td>②手段(具体的な事務事業のやり方)</td> <td colspan="6">⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</td> </tr> <tr> <td>インターネットを利用した那珂市の農業のPR</td> <td>直売所ホームページ開設数</td> <td>サイト</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)</td> <td colspan="6">⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)</td> </tr> <tr> <td>那珂市の農業のPRすることにより、農業生産を拡大させる。</td> <td>ホームページ訪問数</td> <td>人</td> <td>0</td> <td>7,953</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>														単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						市民	人口	人	55,835	55,986	55,887	55,500	55,300	②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						インターネットを利用した那珂市の農業のPR	直売所ホームページ開設数	サイト	4	4	4	4	4	③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						那珂市の農業のPRすることにより、農業生産を拡大させる。	ホームページ訪問数	人	0	7,953	0	0	0																																					
	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)																																																																																															
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)																																																																																																				
市民	人口	人	55,835	55,986	55,887	55,500	55,300																																																																																														
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																																																																																				
インターネットを利用した那珂市の農業のPR	直売所ホームページ開設数	サイト	4	4	4	4	4																																																																																														
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)																																																																																																				
那珂市の農業のPRすることにより、農業生産を拡大させる。	ホームページ訪問数	人	0	7,953	0	0	0																																																																																														
(2)投入量の推移																																																																																																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 5%;">単位</th> <th style="width: 5%;">24年度(実績)</th> <th style="width: 5%;">25年度(実績)</th> <th style="width: 5%;">26年度(見込)</th> <th style="width: 5%;">27年度(計画)</th> <th style="width: 5%;">28年度(計画)</th> <th style="width: 10%;">全体計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>3,832</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>293</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>293</td> <td>3,832</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員</td> <td>千円</td> <td>1,105</td> <td>0.17人</td> <td>1,111</td> <td>0.24人</td> <td>0</td> <td>0.00人</td> <td>0</td> <td>0.00人</td> </tr> <tr> <td>正規外職員</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0.00人</td> <td>0</td> <td>0.00人</td> <td>0</td> <td>0.00人</td> <td>0</td> <td>0.00人</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>1,105</td> <td>1,111</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>投入量(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>1,398</td> <td>4,943</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>														単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	県支出金	千円	0	3,832	0	0	0	地方債	千円	0	0	0	0	0	その他	千円	0	0	0	0	0	一般財源	千円	293	0	0	0	0	事業費計(A)	千円	293	3,832	0	0	0	0	人件費	正規職員	千円	1,105	0.17人	1,111	0.24人	0	0.00人	0	0.00人	正規外職員	千円	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	人件費計(B)	千円	1,105	1,111	0	0	0	0	投入量(A)+(B)	千円	1,398	4,943	0	0	0	0
	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画																																																																																														
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0																																																																																														
	県支出金	千円	0	3,832	0	0	0																																																																																														
	地方債	千円	0	0	0	0	0																																																																																														
	その他	千円	0	0	0	0	0																																																																																														
	一般財源	千円	293	0	0	0	0																																																																																														
事業費計(A)	千円	293	3,832	0	0	0	0																																																																																														
人件費	正規職員	千円	1,105	0.17人	1,111	0.24人	0	0.00人	0	0.00人																																																																																											
	正規外職員	千円	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人																																																																																											
	人件費計(B)	千円	1,105	1,111	0	0	0	0																																																																																													
投入量(A)+(B)	千円	1,398	4,943	0	0	0	0																																																																																														
(3)事務事業の環境変化・市民意見等																																																																																																					
①事業を始めたきっかけ																																																																																																					
インターネットを利用して那珂市の農業をPRすることにより、販売を向上させ東日本大震災による被害を受けた農業に活気を取り戻すため。																																																																																																					
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)																																																																																																					
開始時期と比べ特に変化なし。																																																																																																					
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)																																																																																																					
直売所に出荷している農業者は、高齢化及びPCの扱いに慣れていないため、インターネットを活用したPRに消極的である。																																																																																																					

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	12日		
						点検日	平成26年	7月	2日		
事務事業名	元気ナカむらづくり事業					事業類型	業務委託				
担当部課G等	産業部 農政課		農業振興グループ		記入者氏名	坂本 博之					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり					□ 実施計画対象事業			
	施策名		1 活力ある農業の振興を図る								
	基本事業名		1 農業経営の発展								
予算科目	会計	01	款	05	項	01	目	03	事業名 元気ナカむらづくり事業	根拠法令	
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)				□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)				
事業概要											
【全体概要】 ・元気ナカむらづくり塾を開催し、農業者と住民が講師を交えて意見・情報交換や現状診断等を行う。 ・現況調査や地域資源の発掘並びに分析を行うことにより、地域の将来像を見出す。						【業務内容】 ・元気ナカむらづくり塾の開催 ・農業農村現況調査委託					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
農村部の現状(地域資源、地域の達人等、地域内外の交流)の把握 地域の将来像の策定						市の人口	人	55,835	55,986	55,887	55,500	55,300
						農業者数	人	2,813	2,813	2,813	2,813	2,813
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
農業者(認定農業者、農業後継者、女性農業者等)や地域住民代表(女性ネットワークなか、食生活改善推進協議会、給食サークル/パンキン)で構成された「元気ナカむらづくり塾」を組織し、市全体及び各地域の問題点や現状、資源等をワークショップを通じて抽出し、研修等で専門家の意見を参考にしながら話し合いの中で将来像を策定する。						ワークショップ開催数	回	0	3	0	0	0
						研修会開催数	回	0	3	0	0	0
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
生産者(農業者)と消費者(代表する女性団体)がワークショップで交流を深めたことにより、双方の意見交換が達成され、将来の農業振興に役立てた。また、将来像を描く中で地域資源の掘り起こしを行い、眠っている資源を再確認できた。						認定農業者数	人(団体)	84	84	87	89	90
(2)投入量の推移						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	財源	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	0	5,913	0	0	0	0	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	0	5,913	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	千円	0	1,650	0	0	0	0	0	0	0		
正規職員	千円	0	0.00人	1,650	0.31人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	
正規外職員	千円	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	
人件費計(B)	千円	0	1,650	0	0	0	0	0	0	0		
投入量(A)+(B)	千円	0	7,563	0	0	0	0	0	0	0		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ						国の農業行政がこの数年で様変わりする方向にあることを踏まえ、農業を中心とした農村部の産業や生活を今後維持・発展していくか道標として示すことを図るため、基本計画の前段の基本構想を策定する。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)						外国との輸出入等の状況の変化(TPPへの参加協議等)や、農地の担い手への集積を進めることや水田の生産調整の見直し等を含めた国の農業政策の変化に伴い、地方の農業政策も変化が求められている。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)						生産者である農家だけでなく、消費者である非農家からの意見も取り入れた構想を要望されていることに加え、農業だけに限らない暮らしの基本である農村環境の発展も要望されている。						

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価)	(前年度評価結果を踏まえた見直し内容)	(予算への反映)
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	新規事業であり、前年度評価が存在しない。	<input type="checkbox"/> 削減 (事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円 <input type="checkbox"/> 増加 (事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円 <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市の将来像を描く基本構想の策定であり、市で取り組むべき事業である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 既存のアンケート結果や統計資料を基に、今回の塾生からの意見を踏まえて構想を策定したが、農家の生活形態も各戸により様々であり、もっと広く意見を徴収すべきと考えられる。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 他の、法律によって策定「しなければならない」計画と違う側面はあるが、概況等の資料については同等の内容も多く存在するため、調査結果や統計資料等の幅広い運用を検討すべき。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 意見等を基に計画としてまとめるための業務委託を行っている以外は、人件費、委員報酬及び事務費となり、削減の余地はないと考えられる。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 市で行うべき事業であり、特定の市民にかかわる事業ではないため、該当外と考えられる。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了 廃止 休止 統廃合
 継続 見直し(改革・改善) → { 目的の再設定 有効性の改善 効率性の改善 }
 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)
 平成25年度の単年度事業であり、策定した構想の修正すべき事項が発生した時の随時変更を行う予定となっている。平成26年度以降に行う意見交換等も含め、事業予定等は挙げていない。

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)
 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じ場合も記入)
 農業生産者と住民から選出した塾生が地域資源を活かして、農業農村のリーダーとして活躍できるように支援していく。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	10日		
						点検日	平成26年	7月	7日		
事務事業名	農産物産品化事業					事業類型	補助事業				
担当部課G等	産業部 農政課		農業振興グループ			記入者氏名	田口 晴絵				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり					□ 実施計画 対象事業			
	施策名		1 活力ある農業の振興を図る								
	基本事業名		1 農業経営の発展								
予算科目	会計	01	款	05	項	01	目	03	事業名 農産物産品化事業	根拠法令	
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)			□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)					
事業概要											
【全体概要】						【業務内容】					
・地元産の農産物を使用した加工品、調理品の開発とPR ・地元農産物の調理講習会 ・試作品の試食、品評会						地元農産物を使用した産品開発の業務委託					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市民						人口	人	55,835	55,986	55,887	55,500	55,300
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
地元農産物を使用した産品開発						開発レシピ数	品	0	32	0	0	0
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
地元農産物を使用した産品開発を行い、農産物の消費拡大を図る。						品評会実施	回	0	3	0	0	0
(2)投入量の推移												
	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画					
事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	財源	千円	0	3,920	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	0	3,920	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	千円	0	1,111	0	0	0	0	0	0	0		
正規職員	千円	0	0.00人	1,111	0.24人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	
正規外職員	千円	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	
人件費計(B)	千円	0	1,111	0	0	0	0	0	0	0		
投入量(A)+(B)	千円	0	5,031	0	0	0	0	0	0	0		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ		地元農産物を使用した産品開発を行い、農産物の消費拡大を図る。										
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		開始時期と比べ特に変化なし。										
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		特になし。										

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) (前年度評価結果を踏まえた見直し内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 40px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 40px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table>) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 40px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 40px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table>) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 地元農産物を使用した産品が少ない。そこで、農産物の消費拡大をするために市をあげて取り組む必要がある。
有効性 評価	② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 実施期間が短く、試食によるアンケート調査のみを行い、販売に至っていない。
効率性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 今年度で終了する事業である。
公平性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに、単当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 消耗品等については、必要最低限で実施している。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求めない事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求めない事業ではない 市が中心となって実施する事業であり、受益者負担を求めものではない。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了 廃止 休止 統廃合
 継続 → 見直し(改革・改善) → { 目的の再設定 有効性の改善 効率性の改善 }
 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)
 終了後は、商工観光課と連携し市内農産物を使った特産品の開発及び販売促進を行い、農産物の消費拡大を図る。

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			X
	低下			X

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)
 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じの場合も記入)
 商工観光課と連携して新たな特産品を開発することにより、地場産業の活性化を促す。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	12日	
						点検日	平成26年	7月	2日	
事務事業名	土地改良推進事業					事業類型	負担金			
担当部課G等	産業部 農政課		農村整備G			記入者氏名	橋本 芳彦			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり					■ 実施計画 対象事業		
	施策名		1 活力ある農業の振興を図る							
	基本事業名		5 生産基盤の整備と保全							
予算科目	会計	01	款	05	項	01	目	05	事業名 土地改良推進事業	根拠法令
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ					<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要										
【全体概要】 農業・農村の振興を図るため、県が行う土地改良事業の推進にかかる調査計画費の負担及び地域共同による農地。農業施設等の保全活動に対するの支援。					【業務内容】 県営土地改良事業採択に向けた説明会・同意取得・負担金支出及び農地・水保全管理支払交付金に関する活動計画や実施状況の確認等を行い事業を円滑に推進する。					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
農業振興地域内の農用地						農用地面積	ha	2,446	2,446	2,446	2,446	2,446
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
推進地区説明会や事業採択同意の取得 活動計画、実施状況、事業の成果の確認 事業推進(新規要望地区の取りまとめ) 負担金及び交付金の申請、納付等						事業推進地区面積	ha	510	533	533	533	533
						事業推進地区数	地区	6	8	8	8	8
						活動組織数	地区	3	3	3	3	3
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
再基盤整備事業の推進を図り、農業の多面的機能の 発揮のため地域活動に対して支援し地域の農地を維持するとともに、担い手への農地集積を後押しする。						事業推進率	%	20.9	21.8	21.8	21.8	21.8
(2)投入量の推移						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	6,100	1,600	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	5,994	10,219	8,625	8,150	8,300	0	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	5,994	10,219	14,725	9,750	8,300	0	0	0	0	
人件費	千円	8,100	8,026	8,026	8,026	8,026	0	0	0	0	0	
正規職員	千円	8,100	8,026	8,026	8,026	8,026	0	0	0	0	0	
正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費計(B)	千円	8,100	8,026	8,026	8,026	8,026	0	0	0	0	0	
投入量(A)+(B)	千円	14,094	18,245	22,751	17,776	16,326						
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ						基盤整備後数十年が経過し、施設の改修、効率的、安定的な農業経営の確立が必要となった。農業者の高齢化や耕作放棄地の増加等農村の構造変化に対応した体制の強化や地域の農村環境保全のための活動を支援するため。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)						農業施設の老朽化が目立ち施設の改修が望まれる 農業者の高齢化や不作付地の増加、後継者不足等の問題 地域資源の維持管理に対する担い手への負担を地域で支え、担い手への農地集積を後押しする						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)						担い手への土地利用集積を実施するために再基盤整備を要望する。 土地改良施設の維持管理は受益者や地域住民がこれまでも実施してきたものであり、これらに対する支援制度に積極的に取り組みたいとの要望がある。						

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	12日
						点検日	平成26年	7月	2日
事務事業名	局所土地改良事業					事業類型	管理・運営		
担当部課G等	産業部 農政課			農村整備G		記入者氏名	田上 慎司		
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり					□ 実施計画対象事業	
	施策名		1 活力ある農業の振興を図る						
	基本事業名		5 生産基盤の整備と保全						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令		
			05	01	05	局所土地改良事業			
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返			□ 期間限定複数年度			
			(開始年度 年度～)			(年度～ 年度)			
事業概要									
【全体概要】					【業務内容】				
災害等の突発的なものや、経年劣化によって機能に支障が生じた土地改良施設(農道・排水路・溜池)の復旧及び保全・管理を行う。					機能に支障が生じた土地改良施設に対しての地元からの要望・申請、市パトロールなど災害現場危険度の確認。				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
災害等により復旧の必要が生じた土地改良施設						箇所	10	26	26	26	26	
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
土地改良施設復旧工事 " 除草委託						改善箇所数	10	26	26	26	26	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
土地改良施設の機能を復旧、保全管理することにより、安心して安全な農業基盤を確保し、農業が支障なく従事できるようにする。						改善率＝改善箇所数／対象箇所数	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(2)投入量の推移						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	財源支金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	5,403	11,743	10,420	10,420	10,420	10,420	10,420	10,420	10,420	
事業費計(A)	千円	5,403	11,743	10,420	10,420	10,420	10,420	10,420	10,420	10,420	10,420	
人件費	千円	6,750	8,376	8,376	8,376	8,376	8,376	8,376	8,376	8,376	8,376	
正職員	千円	6,750	8,376	8,376	8,376	8,376	8,376	8,376	8,376	8,376	8,376	
正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費計(B)	千円	6,750	8,376	8,376	8,376	8,376	8,376	8,376	8,376	8,376	8,376	
投入量(A)+(B)	千円	12,153	20,119	18,796	18,796	18,796	18,796	18,796	18,796	18,796	18,796	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ		整備された土地改良施設に対して機能に支障が生じた時の復旧や維持管理を行い長期耐用させる必要があるため。										
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		土地改良施設については耐用年数を迎える施設が多くなってきており、今後の維持管理費が増大していく。ほ場整備事業で多く採用されたコルゲート管について腐食等による陥没が目立ち改修工事の必要性に迫られている。										
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		土地改良施設の維持管理は受益者による賦役で行ってきたものが多い。しかしながら、高齢化や後継者不足のため行政に対して補修、除草などについても要望、陳情が多くなっている。										

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	12日			
点検日	平成26年					点検日	平成26年	7月	2日			
事務事業名	那珂川沿岸農業水利事業					事業類型	負担金					
担当部課G等	産業部 農政課			農村整備G		記入者氏名	田上 慎司					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり					■ 実施計画 対象事業				
	施策名		1 活力ある農業の振興を図る									
	基本事業名		5 生産基盤の整備と保全									
予算科目	会計	01	款	05	項	01	目	05	事業名 那珂川沿岸農業水利事業	根拠法令		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成23年度～平成36年度)							
事業概要												
【全体概要】 国営事業により8市町村の受益地の安定的な農業用水を供給するため、ダム、揚水機場、用水路の整備を行う。併せて県営事業等により、水田の用水補給と畑地かんがいを行うための土地基盤整備(ほ場や農道、支線、末端用排水施設)を行う。					【業務内容】 事業費は、事業の推進及び事業費負担金として支出される。							
1 現状把握の部(DOシート)												
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
那珂川流域の農業地域						事業推進計画地区面積	ha	0	0	23	23	23
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
推進地区の決定 推進地区の受益者へ説明会等をし、地区の土地基盤整備への理解を深めてもらい、事業推進をしていく。						事業推進地区面積	ha	0	0	23	23	23
						事業推進地区数	地区	0	0	2	2	2
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
那珂川流域の農業の活性化 農業用水を確保し、農業生産性を向上させ、農業経営を安定させる。						整備面積	ha	0	0	0	0	0
(2)投入量の推移						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	財源支金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	10,872	10,871	11,375	11,375	11,375	11,375	11,375	11,375	0	
	事業費計(A)	千円	10,872	10,871	11,375	11,375	11,375	11,375	11,375	11,375	0	
人件費	千円	8,100	8,026	8,026	8,026	8,026	8,026	8,026	8,026	8,026		
正職員	千円	8,100	8,026	8,026	8,026	8,026	8,026	8,026	8,026	8,026		
正外職員	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
人件費計(B)	千円	8,100	8,026	8,026	8,026	8,026	8,026	8,026	8,026	8,026		
投入量(A)+(B)	千円	18,972	18,897	19,401	19,401	19,401	19,401	19,401	19,401	19,401		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ			那珂川沿岸地区は水田や畑で用水不しているうえ、ほ場が狭小であり、水利施設も老朽化している。このため那珂川、御前山ダムに水源を求め、農業生産の基盤整備を実施し農業経営の安定化をはかる。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			農業、農村をとりまく情勢は高齢者の進展や後継者不足、耕作放棄地の増加など大きく変化してきている。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			国に対し県、関係市町村は、関連事業と十分に調整を図り、効果の発現に遅れが生じないこと。また、維持管理が軽減できる施設の造成を要望している。									

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	12日
						点検日	平成26年	7月	7日
事務事業名	土地改良基盤整備事業					事業類型	補助事業		
担当部課G等	産業部 農政課			農村整備G		記入者氏名	田上 慎司		
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり					■ 実施計画対象事業	
	施策名		1 活力ある農業の振興を図る						
	基本事業名		5 生産基盤の整備と保全						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令		
			05	01	05	土地改良基盤整備事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ					<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	
						(開始年度 年度～)		(年度～ 年度)	
事業概要									
【全体概要】					【業務内容】				
農業農村の振興を図るために、土地改良事業(農道、かんがい排水、溜池等)の整備を行う。また、県営事業(農道、かんがい排水路、区画整理、排水機場、農業活動拠点施設)で行う事業費の一部を負担する。事業費は、農道、かんがい排水、溜池等の設計委託費、改良工事費、県営事業負担金として支出される。					①地元からの要望・陳情を採択 ②実施計画への計上 ③補助の法手続き ④補助事業の採択後に実施設計 ⑤借地契約及び工事説明会 ⑥工事等				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
農業振興地域の農用地 農業用排水路、農業用溜池						農用地面積	ha	2,446	2,446	2,446	2,446	2,446
						排水路・溜池整備箇所数	箇所	49	89	69	97	89
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
事業内容検討(県、改良区等との打合せ他) 法手続き(調査、説明会実施、同意取得、議会承認等) 実施設計委託、工事等						農用地整備面積	ha	1,781	1,925	1,925	1,925	1,925
						排水路整備延長	m	948	280	900	1,445	925
						排水路横断整備箇所数	箇所	0	40	19	47	40
						溜池整備箇所	箇所	0	0	1	0	0
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
農村としての住環境を整え、排水路整備による乾田化や溜池整備による用水の安定供給により、農地の耕作利便性が向上し農業生産基盤の強化になる。						農用地整備率	%	72.8	78.7	78.7	78.7	78.7
						排水路整備率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
						排水路横断整備箇所数	箇所	0	40	19	47	40
						溜池整備済箇所数	箇所	34	34	35	35	35
(2)投入量の推移						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業費	財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	内訳	県支出金	千円	0	4,000	23,850	8,250	11,015	0			
		地方債	千円	0	19,400	34,400	34,400	71,300	0			
		その他	千円	0	0	0	0	0	0			
		一般財源	千円	22,841	65,753	64,600	64,848	73,803	0			
	事業費計(A)	千円	22,841	89,153	122,850	107,498	156,118	0				
人件費	正規職員	千円	6,750	1.55人	8,376	1.54人	8,376	1.54人	8,376	1.54人		
	正規外職員	千円	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人		
	人件費計(B)	千円	6,750	8,376	8,376	8,376	8,376	8,376				
投入量(A)+(B)		千円	29,591	97,529	131,226	115,874	164,494					
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ			土地改良施設に対する地元団体(土地改良区等)や受益者からの要望による。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			国、県の予算措置が要望満額つかず、事業期間延伸、事業費増大の傾向にある。受益者の高齢化により農地、農業施設の管理不十分で、耕作放棄地増加の問題がある。土地改良法改正により、環境配慮した整備が義務化されている。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			早期の事業竣工や新規地区の要望(年度予算への要望)									

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み																	
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了・廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 	(前年度評価結果を踏まえた見直し内容) <p>整備が遅れているかんがい排水(横断管)の箇所を40箇所し、農業排水の向上を図った。</p> (予算への反映) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 削減 (事業費)</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">0</td> <td style="width: 40%;">千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(人件費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 増加 (事業費)</td> <td style="text-align: center;">15,370</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(人件費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td colspan="3"><input type="checkbox"/> 反映なし</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円	(人件費)	0	千円	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 (事業費)	15,370	千円	(人件費)	0	千円	<input type="checkbox"/> 反映なし		
<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円															
(人件費)	0	千円															
<input checked="" type="checkbox"/> 増加 (事業費)	15,370	千円															
(人件費)	0	千円															
<input type="checkbox"/> 反映なし																	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 農業の振興や農村の防災という観点から土地改良事業に対する市の負担は妥当である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ほ場、農道、用排水路、溜池等関連事業と合わせた総合的整備を行うことで成果の向上が図れる。
効率性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 整備が遅れ農業生産性が向上しない。
公平性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費(負担金)は国県の定めた補助制度に基づいた額であり、事業費削減は期間の延伸、投資効率の低下となる。 説明会、県・改良区との調整等一係で行っており人件費削減はできない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 農道やかんがい排水、溜池等の整備は地域性、公共性が強いので、国県市のみ負担であり、区画整理や農業用水、用水機場等の整備は地元改良区や農家(受益者)の負担もあり公平性がある。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) 	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 排水路横断管が老朽化し、安全性が低下しているのでコストを増加し早急な工事が必要である。	改革・改善による期待成果																					
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">削減</td> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">成果</td> <td style="text-align: center;">向上</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">維持</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低下</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持			×																		
	低下			×																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じの場合も記入) 農業生産の基盤施設である排水路の整備を計画的に進めていく。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 																						

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	9日			
						点検日	平成26年	7月	2日			
事務事業名	戸別所得補償対策事務費					事業類型	負担金					
担当部課G等	産業部 農政課		農村整備グループ		記入者氏名	古谷 武						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり					■ 実施計画 対象事業				
	施策名		1 活力ある農業の振興を図る									
	基本事業名		1 農業経営の発展									
予算科目	会計	01	款	05	項	01	目	07	事業名 戸別所得補償対策事務費	根拠法令	米政策改革基本要綱	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 昭和53年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)				
事業概要												
【全体概要】 農業者戸別所得補償制度の周知及び米の消費拡大のPRを実施する。					【業務内容】 地区及び団地組合の制度説明会を実施し、生産調整・転作等の推進を図る。							

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
水稲生産農家	水稲生産農家戸数	戸	4,136	4,102	4,125	4,120	4,120	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
農業者戸別所得補償制度周知のため、地区、団地組合の説明会を実施した。また、米の消費拡大の一環として米粉を使用した米粉パンを学校給食に提供し、普通パンとの差額を負担した。	水田総面積	ha	1,964	1,961	1,960	1,960	1,960	
	説明会開催数	回	8	5	5	5	5	
	計画書提出件数	件	1,169	1,138	1,200	1,200	1,200	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
水稲作付可能な生産数量目標の達成及び農業経営の安定化を図る。	水稲作付率=(実施水稲作付面積/計画水稲作付面積)	%	120.5	120.6	120.0	120.0	120.0	
(2)投入量の推移		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	6,994	7,747	7,747	7,747	7,747	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,230	1,097	1,716	1,826	1,227	0
	事業費計(A)	千円	8,224	8,844	9,463	9,573	8,974	0
人件費	千円	3,604	4,665	4,665	4,665	4,665	4,665	
正規職員	千円	0	0	0	0	0	0	
正規外職員	千円	3,604	4,665	4,665	4,665	4,665	4,665	
人件費計(B)	千円	3,604	4,665	4,665	4,665	4,665	4,665	
投入量(A)+(B)	千円	11,828	13,509	14,128	14,238	13,639		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	生産調整達成率を向上させるため対象農家を個別に推進した。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	これまでの減反政策から農業者戸別所得補償制度の実施に伴い、生産した数量に対しての補償制度に変わった。米の所得補償対象者は、生産する数量目標達成者であるため戸別推進がなくなった。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	長年の生産調整事業の実施にも関わらず、米の価格下落が続き農家収入が減少し、制度に加入する農家からはその実効性が問われている。							

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(前年度評価結果を踏まえた見直し内容) 農業者戸別所得補償制度の周知及び米の消費拡大のPRを実施した。 (予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <input type="text" value="0"/> 千円) (人件費 <input type="text" value="0"/> 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <input type="text" value="0"/> 千円) (人件費 <input type="text" value="0"/> 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 米の需給調整を図り農業経営の安定化を図るためには、行政の役割・関与は必要である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 農業者戸別所得補償制度周知及び米消費拡大のPR事務である。
効率性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はない。
公平性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 那珂市農業再生協議会を中心に推進しているが、当事業でその他の補足事務及び市補助金交付事務を行っている。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求めない事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求めない事業ではない 米政策及び米消費拡大の周知・PR業務である。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																						
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>⊗</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>⊗</td> <td>⊗</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	⊗	低下		⊗	⊗
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	⊗																		
	低下		⊗	⊗																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じの場合も記入) 実施地区及び団地組合の制度説明会を実施し、生産調整・転作等の推進を図っていく。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						

評価対象年度	平成25年度	事務事業評価シート				作成日	平成26年	6月	9日			
事務事業名	戸別所得補償奨励補助事業					事業類型	補助事業					
担当部課G等	産業部 農政課	農村整備グループ	記入者氏名	古谷 武								
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり						■ 実施計画 対象事業				
	施策名	1 活力ある農業の振興を図る										
	基本事業名	1 農業経営の発展										
予算科目	会計	01	款	05	項	01	目	07	事業名	戸別所得補償奨励補助事業	根拠法令	米政策改革基本要綱
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 昭和52年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)				
事業概要												
【全体概要】						【業務内容】						
水田農業の構造改革を進めるため、転作団地を中心とする生産性及び品質の向上を目指した転作実施者に対して、市転作補助金を交付し、米の生産調整の円滑な推進を図る。						農業者が作成する営農計画書に基づき現地確認を実施し、転作の形態及び転作面積に応じて補助金を交付する。						

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
水稻生産農家	水稻生産農家戸数	戸	4,136	4,102	4,125	4,120	4,120	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
現地確認結果に基づく転作実施内容及び地域の活動状況に応じて転作奨励補助金を交付した。	水田総面積	ha	1,964	1,961	1,960	1,960	1,960	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
農家自らが生産調整のための転作に主体的に取り組むことにより農業経営の安定を図る。また、個々の農家が生産目標を達成できるようにする。	生産調整実施面積	ha	451	449	420	410	410	
(2)投入量の推移		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	財源地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	60,662	52,497	67,500	67,500	67,500	0
	事業費計(A)	千円	60,662	52,497	67,500	67,500	67,500	0
	人件費	千円	8,980	9,345	9,345	9,345	9,345	9,345
正職員	千円	8,980	9,345	9,345	9,345	9,345	9,345	0
正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0	0
人件費計(B)	千円	8,980	9,345	9,345	9,345	9,345	9,345	0
投入量(A)+(B)	千円	69,642	61,842	76,845	76,845	76,845	76,845	0
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	昭和53年から米の生産調整(減反)政策、平成23年度からは農業者戸別所得補償制度が実施された。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	これまでの米の減反政策に、水田を活用して麦・大豆・米粉用米・飼料用米等の戦略作物を推奨し、食料自給率の向上を目指す施策となった。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	ほ場整備をした水田でも乾田化が図れず、転作できる条件ではない。後継者がなく、これまでの稲作中心で耕作していく。							

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価)	(前年度評価結果を踏まえた見直し内容)	(予算への反映)
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	転作奨励補助基準に基づき転作等の実績に応じ補助金を交付している。	<input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <input type="text" value="0"/> 千円) (人件費 <input type="text" value="0"/> 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <input type="text" value="0"/> 千円) (人件費 <input type="text" value="0"/> 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価 ① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 農業は市の基幹産業であり、特に米の価格安定の政策による、農業経営の安定化は市の農政として必要である。農家台帳による耕作者、耕作異動情報を取り扱う事務である。
有効性評価 ② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 大規模農家には、農業者戸別所得補償制度への積極的な参加を促し、米以外の戦略作物の生産拡大と、品質・収穫量の向上を図っている。しかし小規模農家は、米以外の作物生産は難しい。
有効性評価 ③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はない。
効率性評価 ④ 事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに、単当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 営農計画に基づく作付面積等の配分、通知、確認事務等、データ管理システムである。(需給調整システム)
公平性評価 ⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求めない事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求めない事業ではない 農業者戸別補償制度の交付対象者が決められている事業である。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了 廃止 休止 統廃合
 継続 → 見直し(改革・改善) → { 目的の再設定 有効性の改善 効率性の改善 }
 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	×
	低下		×	×

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)
 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じの場合も記入)
 水田農業ビジョンに基づき、農業者主体の米の生産自給調整の促進を図る。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	13日			
						点検日	平成26年	6月	24日			
事務事業名	中小企業振興対策事業					事業類型	補助事業					
担当部課G等	産業部 商工観光課		商工観光G		記入者氏名	主幹 生田目恵司						
総合計画体系	施策の大綱(施策名) 第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり					■ 実施計画 対象事業						
	施策名 2 地域に活力をもたらす商工業の振興を図る											
	基本事業名 1 商業の振興											
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令	那珂市中小企業事業資金融資 制度信用保証				
			06	01	02	中小企業振興対策事業						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 平成6年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)						
事業概要												
【全体概要】 自治金融・振興金融制度の利用者に対し、信用保証料及び利子の補給を行うことで、中小企業者の金利負担を軽減し、制度の利用効果を高める。また、市中小企業労働者共済会の会員が各種資金の融資を受けた際、信用保証料の補給を行い、中小企業労働者の金利負担を軽減し、円滑な資金調達の支援を図る。					【業務内容】 中小企業経営者や中小企業労働者への補助金交付事務 計 8,616,150円 ・信用保証料補助(自治+振興) 4,611,875+ 1,686,575=6,298,450円 ・利子補給(自治+振興) 1,667,700+ 650,000=2,317,700円 ・信用保証料補助(共済会) 0円 ・信用保 証料返戻金(自治+振興) 0円							
1 現状把握の部(DOシート)												
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
・市内中小企業の経営者・市内在住の中小企業労働者						箇所	1,958	1,953	1,953	1,953	1,953	
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
・自治金融・振興金融の融資斡旋委託 ・(自治・振興)信用保証料補助及び利子補給 ・(共済会)信用保証料補助						件	51	68	68	68	68	
						千円	4,680	6,299	6,299	6,299	6,299	
						千円	1,493	2,318	2,318	2,318	2,318	
						千円	26	0	0	0	0	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
市内中小企業の経営安定化及び市内在住中小企業労働者の福祉向上を図り、地域経済の発展につなげる。						件	51	68	68	68	68	
						件	51	68	68	68	68	
						万円	7,651,240	7,651,240	7,651,240	7,651,240	7,651,240	
						万円	4,096,717	4,319,133	4,319,133	5,200,000	5,200,000	
(2)投入量の推移						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	財源支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	6,198	8,616	21,816	28,676	28,676	28,676	28,676	28,676	28,676	
	事業費計(A)	千円	6,198	8,616	21,816	28,676	28,676	28,676	28,676	28,676	28,676	
人件費	千円	1,020	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000		
正規職員	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
正規外職員	千円	1,020	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000		
人件費計(B)	千円	1,020	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000		
投入量(A)+(B)	千円	7,218	9,616	22,816	29,676	29,676	29,676	29,676	29,676	29,676		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ						昭和三十九年6月制定の「那珂市中小企業事業資金融資あっ旋規則」に基づく「自治金融・振興金融制度」の利用効果向上を図るため、市内中小企業の経営者に対する支援を開始した。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)						長引く経済低迷や東日本大震災の影響等により、売上高・利益率の減少や事業再建資金の調達難など、中小企業を取り巻く経済情勢は依然として厳しい状況にある。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)						自治金融・振興金融制度は、他制度と比較して融資申込から貸付決定に要する期間が長いこと、資金調達の迅速性にやや欠ける面があり、利用者数の伸び悩みの一因となっているのではないか(那珂市商工会事務局)						

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み												
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前年度評価結果を踏まえた見直し内容) ・市や商工会、市内金融機関、中央労働金庫の窓口・ホームページ等において、制度利用の促進に向けた周知を図った。 (予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; text-align: center;">0</td><td style="width: 40px; text-align: center;">千円</td></tr><tr><td style="text-align: center;">(人件費)</td><td style="text-align: center;">0</td><td style="text-align: center;">千円</td></tr></table> <input type="checkbox"/> 増加 (事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; text-align: center;">0</td><td style="width: 40px; text-align: center;">千円</td></tr><tr><td style="text-align: center;">(人件費)</td><td style="text-align: center;">0</td><td style="text-align: center;">千円</td></tr></table> <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	(人件費)	0	千円	0	千円	(人件費)	0	千円
0	千円											
(人件費)	0	千円										
0	千円											
(人件費)	0	千円										

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 中小企業に補助金を支出し金利負担の軽減及び事業資金調達の円滑化を支援することは、中小企業の事業活動の維持及び活性化を促進する上で必要であり公共関与については妥当性がある。
有効性 評価	② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 中小企業労働者共済融資制度は十分に認知されていない面があるため、商工会や市内金融機関と連携しながら企業に対しての周知を行って利用促進を図っていく必要がある。
公平性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事務事業がないため統廃合の余地はない。また、中小企業を取り巻く情勢は依然として厳しいため、事業の廃止、休止は企業の事業資金調達に影響が出る可能性が高い。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 制度利用の実績に応じて補助金額が決まるので、成果と事業費は比例するため成果を下げずに事業費を削減する余地はない。制度斡旋事務は那珂市商工会に委託している。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求めない事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求めない事業ではない 制度利用者は、必要な手数料を那珂市商工会へ支払っている。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) 改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 関係機関との連絡を密にし、一層制度のPRに努めるとともに、利用者のニーズに沿った利便性の向上を図る。	※担当課長、グループ長、担当者が記載
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じの場合も記入) 商工会や市内金融機関と連携し、企業に対して制度の周知を行うとともに一層の利用促進を図っていく。	※担当部長が記載
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)	
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)	

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			×
	低下			×

評価対象年度	平成25年度	事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	13日
					点検日	平成26年	6月	24日
事務事業名	商工会補助事業				事業類型	補助事業		
担当部課G等	産業部	商工観光課	商工観光G		記入者氏名	課長 引田克治		
総合計画体系	施策の大綱(施策名) 第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり				■ 実施計画対象事業			
	施策名 2 地域に活力をもたらす商工業の振興を図る							
	基本事業名 1 商業の振興							
予算科目	会計	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	
			06	01	02	商工会補助事業		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		
			(開始年度 昭和35年度～)			(年度～年度)		
事業概要								
【全体概要】 中小企業者の経営改善及び近代化・合理化を図るため、那珂市商工会に対し補助を行い、各種指導・相談業務の強化を支援し、中小企業の活性化を促進する。				【業務内容】 那珂市商工会への補助金交付事務 計 13,000,000円 ・人件費補助 12,250,000円(商工会等職員設置費等事業 9,884,315円、 商工会等リーディング事業 2,365,685円) ・事業費補助 750,000円(商店街賑わい創出事業 750,000円)				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
・市内事業者数		箇所	1,958	1,953	1,953	1,953	1,953	
②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
・資金補助及び斡旋委託(人件費補助、事業費補助)		商工会会員数	名	1149.	1136.	1136.	1136.	1136.
		商工会支部・部会等事業開催回数	回	37.	39.	39.	39.	39.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
・経営の改善及び近代化、合理化を図る ・競争力の向上を図る ・地域雇用の創出、安定化を図る		金融斡旋事業(貸付件数)	件	151	181	181	181	181
		指導及び相談件数	件	2,639	1,966	1,966	1,966	1,966
		年間商品販売額(H19商品販売額)	万円	7,651,240	7,651,240	7,651,240	7,651,240	7,651,240
		製造品出荷額等(従業者4人以上)経済センサス/H24活動調査	万円	4,096,717	4,319,133	4,319,133	5,200,000	5,200,000
(2)投入量の推移		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	財源	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000
	事業費計(A)	千円	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000
人件費	千円	510	500	500	500	500	500	
正規職員	千円	510	500	500	500	500	500	
正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0	
人件費計(B)	千円	510	500	500	500	500	500	
投入量(A)+(B)	千円	13,510	13,500	13,500	13,500	13,500	13,500	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ		商工会の活動をより活性化させることで、市内中小企業者の振興を図ることができる。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		近年、商工会の会員数の減少等により財政運営は厳しくなっており、県商工会連合会への人事一元化による正規職員数の適正化や積立金等の取り崩しによる財政確保など、一層効率的な団体運営に努めている。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		商工業活性化のため、今後も継続して支援を行なってほしい(那珂市商工会)						

評価対象年度	平成25年度	事務事業評価シート				作成日	平成26年	6月	11日							
点検日	平成26年	6月	24日	事業名	がんばる商店街支援事業	事業類型	補助事業									
担当部課G等	産業部 商工観光課	商工観光G	記入者氏名	主事 菊池 幸												
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり													
	施策名		2 地域に活力をもたらす商工業の振興を図る													
予算科目	基本事業名		1 商業の振興													
	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業名	がんばる商店街支援事業	根拠法令					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度							
事業概要		(開始年度				年度～)				(年度 ~ 年度)						
【全体概要】		やる気のある意欲的な事業者団体等の取り組みへの支援を行い、個別店舗の魅力及び競争力の向上やまちなかの賑わい創出を図るとともに、その成果を他へ波及させ、事業者全体の底上げを図る。														
【業務内容】		那珂市商工会や市内事業者・任意団体等に対する補助金交付事務 計250,000円(H25補助実績額) ・活用団体 ・補助率 市:1/3(ただし上限額 500,000円)、事業主体:2/3 地域活性化センターより、移住・交流による地域活性化事業(2,000千円・10/10補助)としてカミスガプロジェクトの「ワーホリツアー」が採択。														
1 現状把握の部(DOシート)																
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移																
											単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)												
・市内事業者(卸売業・小売業・サービス業)				事業所数(経済センサス調査/H21基礎調査、H24活動調査)	箇所	1,087	970	970	970	970						
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)												
・資金補助(事業費補助)				「一店逸品事業」参加事業所数	箇所	62	55	55	55	55						
				商業活性化事業取組団体数	団体	1	2	2	2	2						
				商業活性化イベント開催回数	回	4	11	12	12	12						
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)												
・「一店逸品」の充実により、個人商店の店舗力(商品力・サービス力)を強化し、来店者数や売上高の回復・増加を図る。・意欲的な事業者による取組み拡大により、市内外からの来街者数を増加させ、地域商業の活性化を図る。				年間商品販売額(H19商業統計調査)	万円	7,651,240	7,651,240	7,651,240	7,651,240	7,651,240						
				商工会員数の内、商業部会員数(卸売業、小売業)	名	259	257	255	255	255						
				商工会員数の内、サービス部会員数(飲食業、サービス業)	名	389	387	385	385	385						
(2)投入量の推移																
		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画								
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	財源支金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	500	2,250	1,500	2,500	3,000	0	0	0	0	0	0			
	事業費計(A)	千円	500	2,250	1,500	2,500	3,000	0	0	0	0	0	0			
人件費	千円	510	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500			
正規職員	千円	510	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500			
正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
人件費計(B)	千円	510	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500			
投入量(A)+(B)		千円	1,010	2,750	2,000	3,000	3,500									
(3)事務事業の環境変化・市民意見等																
①事業を始めたきっかけ			那珂市には商店街の形成がなく、商店街を中心とした活性化策が機能しないため、個別店舗の魅力及び競争力を向上させる施策として、分散型商業地域でも効果を期待できる「一店逸品事業」に取り組むこととなった。													
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			市内の小売業者は、大規模小売店舗等の市内・近隣地域への出店等の影響により、減少傾向が顕著である。また、事業者を取り巻く状況は厳しい状況が続いており、依然として復調の兆しを見出せない状況が続いている。													
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			商工業活性化のため、今後も継続して支援を行なってほしい(那珂市商工会)													

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み																	
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 	(前年度評価結果を踏まえた見直し内容) <p>当初予算で、昨年度より増額した1,250千円を計上した。また、地域活性化センターの補助で、カミスガプロジェクトが移住・交流による地域活性化事業(2,000千円)として、カミスガワーホリツアーズを実施した。</p>															
		(予算への反映) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 削減 (事業費)</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">0</td> <td style="width: 40%;">千円)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(人件費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td>千円)</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 増加 (事業費)</td> <td style="text-align: center;">1,750</td> <td>千円)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(人件費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td>千円)</td> </tr> <tr> <td colspan="3"><input type="checkbox"/> 反映なし</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円)	(人件費)	0	千円)	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 (事業費)	1,750	千円)	(人件費)	0	千円)	<input type="checkbox"/> 反映なし		
<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円)															
(人件費)	0	千円)															
<input checked="" type="checkbox"/> 増加 (事業費)	1,750	千円)															
(人件費)	0	千円)															
<input type="checkbox"/> 反映なし																	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市の商業振興施策を実現する上で、補助金を支出することは効果的な手段であることから、公共関与は妥当といえる。
有効性 評価	② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 商工会事務局主導で事業実施されているため、事業参加者の主体性が低い。事業内容の検証や把握方法に不十分な点があるため、今後の改善に余地がある。
有効性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業がないため統廃合の余地はない。廃止休止した場合、個別店舗の事業活動低下につながり、地域商業の衰退や地域経済の停滞を招く懸念がある。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費については、運営や財源を参加事業者主体の事業(商工会単独事業)へ移行を図っていくことで、段階的に削減していくことを模索する必要がある。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求めない事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求めない事業ではない 参加事業者は必要な負担金を那珂市商工会へ支払っている。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) 	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) <ul style="list-style-type: none"> ・参加事業者の拡大とともに、事業者の主体性の認識の高揚を図る。 ・事業の自律的継続とPR等による成果の活用を図る。 	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">削減</td> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">成果</td> <td style="text-align: center;">向上</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">維持</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低下</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じ場合も記入) やる気のある意欲的な事業者団体等の取り組みに支援を行うことは、まちなかの賑わい創出を図り、事業者全体の底上げに繋がる。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 																						

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	6日							
点検日	平成26年					6月	24日									
事務事業名	商工業振興計画策定事業					事業類型	委員会・審議会等									
担当部課G等	産業部 商工観光課		商工観光グループ		記入者氏名	課長補佐 萩野谷 真										
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり					■ 実施計画 対象事業								
	施策名		2 地域に活力をもたらす商工業の振興を図る													
	基本事業名		1 商業の振興													
予算科目	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業名	商工業振興計画策定事業	根拠法令					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		(開始年度 年度～)	(年度～ 年度)					
事業概要																
【全体概要】						【業務内容】										
<p>前回、平成21年3月に策定した「那珂市商業振興計画」(計画期間:平成21～25年度)から5年経過し、また、「那珂市商工業現況調査報告書」の調査結果を基に、平成25年度に策定委員会を組織して「商工業振興計画」(平成26～30年度)5か年計画を策定する。</p>						<p>那珂市商工業振興計画策定委員会を委員17名で発足。計5回の策定委員会を開催したほか、講演会、意見交換会、パブリックコメント募集を経て、平成26年3月に「那珂市商工業振興計画書」を策定した。</p>										
1 現状把握の部(DOシート)																
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移																
											単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)												
市内商工業者・サービス事業者				事業所数(卸売+小売業)		件	508	508	508	508	508					
				事業所数(工業)		件	78	78	78	78	78					
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)												
「商工業振興計画」の策定				策定委員会開催数		回	0	5	0	0	0					
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)												
市内商工業の成長により市民生活を向上し、雇用機会を維持・拡大して、まちの活力を高めることを目指す。				金融斡旋事業		件	151	181	181	181	181					
				指導・相談件数		件	2,639	1,966	1,966	1,966	1,966					
(2)投入量の推移																
		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画								
事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0								
	財源支出金	千円	0	0	0	0	0	0								
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0								
	その他	千円	0	0	0	0	0	0								
	一般財源	千円	0	3,938	0	0	0	3,938								
	事業費計(A)	千円	0	3,938	0	0	0	3,938								
人件費	千円	0	1,410	0	0	0	0	0	0	0						
正規職員	千円	0	0.00人	1,410	0.25人	0	0.00人	0	0.00人	0						
正規外職員	千円	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0						
人件費計(B)	千円	0	1,410	0	0	0	0	0	0	0						
投入量(A)+(B)		千円	0	5,348	0	0	0	0								
(3)事務事業の環境変化・市民意見等																
①事業を始めたきっかけ			市の商工業振興策を総合的かつ計画的に推進することにより、地域の魅力を活かした商工業振興を図り、市民生活をいきいきとしたものにしていく。													
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			周辺地域への大規模店舗出店や市内への出店計画が具体化し、那珂市の商業環境は大きく変化している。また、少子高齢化により市場規模の縮小や経営者の高齢化など経営環境は厳しい状況になってきている。													
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			厳しい経営環境のなか商工業者自身の自助努力には限界があるため、商工会、市が一体となった取り組みを望む声がある。													

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	6日		
						点検日	平成26年	6月	24日		
事務事業名	観光事務費					事業類型	管理・運営				
担当部課G等	産業部 商工観光課		商工観光グループ		記入者氏名	課長補佐 萩野谷 真					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があふ賑わいのあるまちづくり					□ 実施計画 対象事業			
	施策名		3 地域資源を活かした観光の振興を図る								
	基本事業名		3 観光情報の発信								
予算科目	会計	01	款	06	項	01	目	03	事業名 観光事務費	根拠法令	
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)				□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)				
事業概要											
【全体概要】 観光の振興を図る。						【業務内容】 観光事務					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
観光客及び市民						人口	人	55,835	55,986	55,887	55,500	55,300
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
観光振興を図るための、臨時雇用者の賃金や観光PR時の旅費、観光パンフレットの印刷費等にかかる事務事業にかかる費用。						HP更新回数	回	15	22	20	20	20
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
・観光客の増加を目指す。						市HP閲覧者数(年間)	人	346,257	477,174	510,000	520,000	520,000
						年間観光入込客数	人	211,400	287,800	260,000	280,000	290,000
(2)投入量の推移						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	財源	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	2,646	2,492	2,819	2,819	2,819	2,819	2,819	2,819	2,819	
	事業費計(A)	千円	2,646	2,492	2,819	2,819	2,819	2,819	2,819	2,819	2,819	
人件費	千円	860	830	735	735	735	735	735	735	735		
正職員	千円	860	830	735	735	735	735	735	735	735		
正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
人件費計(B)	千円	860	830	735	735	735	735	735	735	735		
投入量(A)+(B)	千円	3,506	3,322	3,554	3,554	3,554	3,554	3,554	3,554	3,554		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ			那珂市の地域資源を活用した観光振興を図るため、各種観光情報を発信するために必要な事務が必要となった。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			茨城県をはじめ県内各自治体も観光振興事業には、力を入れており観光施策に対する重要度が増している。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			積極的に観光キャンペーンやマスメディアを利用し、那珂市をアピールする機会を設けるようにとの声がある。									

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	10日
						点検日	平成26年	6月	24日
事務事業名	なかひまわりフェスティバル事業					事業類型	イベント・行事・各種講座教室等		
担当部課G等	産業部 商工観光課		商工観光グループ		記入者氏名	主幹 磯野 剛志			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり			■ 実施計画 対象事業			
	施策名		3 地域資源を活かした観光の振興を図る						
	基本事業名		1 観光イベントによる地域活性化						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令		
			06	01	03	なかひまわりフェスティバル事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度			
			(開始年度 年度～)			(年度～ 年度)			
事業概要									
【全体概要】					【業務内容】				
那珂総合公園にて、市の花である向日葵をシンボルとしたイベント及び公園周辺の畑約4haに約25万本のひまわりを咲かせ、市民協働によるイベントを開催する。					イベント及び花火大会の運営補助及びひまわり畑の作付け				

1 現状把握の部(DOシート)												
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移												
						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
観光客及び市民						来場者数	人	40,000	45,000	50,000	50,000	50,000
						人口	人	55,835	55,896	55,887	55,500	55,300
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
運営主体となる実行委員会への補助金支出、実行委員会への出席。ひまわり耕作者に対する説明会の開催及び耕作委託に関する事務。						ひまわり作付面積	ha	4	4	4	4	4
						チラシ作成部数	部	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000
						HP更新回数	回	15	22	20	20	20
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
・市民に那珂市の良さを知ってもらい郷土愛を育む・観光客の増加を目指す。						年間観光入込客数	人	211,400	287,800	260,000	280,000	290,000
						市HP閲覧者数(年間)	人	346,257	477,174	500,000	510,000	520,000
						参加団体数	団体	93	86	100	100	100
(2)投入量の推移												
		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画				
事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	財源支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	0	0	0				
	一般財源	千円	13,195	13,138	13,471	13,471	13,471	0				
	事業費計(A)	千円	13,195	13,138	13,471	13,471	13,471	0				
人件費	千円	1,720	1,660	1,660	1,660	1,660	1,660	0.30人				
正規職員	千円	0	0	0	0	0	0	0.00人				
正規外職員	千円	1,720	1,660	1,660	1,660	1,660	1,660	0.30人				
人件費計(B)	千円	1,720	1,660	1,660	1,660	1,660	1,660	0.30人				
投入量(A)+(B)		千円	14,915	14,798	15,131	15,131	15,131					
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ			旧那珂町の花「ひまわり」(昭和60年制定、現在は市の花)を周知することにより、町をPRする手段として開始した。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			多年にわたるPR活動やインターネットの普及により、イベントが地域住民だけではなく市外・県外の住民に周知できるようになり、また高速道路整備により、市外から多くの観光客が訪れることができるようになった。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			・夏のひまわりより秋のひまわりの方が珍しく興味深い。・夏のひまわりからは「ひまわりオイル」が搾取できる。									

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前年度評価結果を踏まえた見直し内容) 参加団体の負担金の増額について、実行委員会へ提案 (予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円 <input type="checkbox"/> 増加 (事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円 <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 地域住民に対する市の花「ひまわり」の周知とともに、商業の活性化を促し、農産物の地産地消や市のPRをすることができる。
有効性評価	② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 民間団体(那珂市商工会)が主体の実行委員会を組織してフェスティバルが開催されるようになったことから、参加団体の増加及び商業・農業の発展が期待できる。
有効性評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業がないことから統廃合はできない。観光PR、市民交流及び生涯学習発表の場や観光客の減少につながることから廃止・休止はできない。
効率性評価	④ 事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) イベント内容の見直し等により事業費削減ができるも、質低下による来場者数の減が懸念される。また、人件費はすでに実施主体を民間団体へ移行済なので削減できる余地はない。
公平性評価	⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 出店者参加団体は負担金を支払って出店している。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 参加団体の理解求めながら、出店負担金の増加の検討 市内業者の参加を促すことにより、連携を深め産業の活性化を図る																							
	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>⊗</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>⊗</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			⊗	低下			⊗
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			⊗																				
	低下			⊗																				
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じの場合も記入) ひまわりを活用した観光イベントを開催して、市の魅力を市内外に伝えていく必要がある。																								
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	9日		
						点検日	平成26年	6月	24日		
事務事業名	団体補助事業					事業類型	補助事業				
担当部課G等	産業部 商工観光課		商工観光グループ		記入者氏名	主幹 磯野 剛志					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり					■ 実施計画 対象事業			
	施策名		3 地域資源を活かした観光の振興を図る								
	基本事業名		3 観光情報の発信								
予算科目	会計	01	款	06	項	01	目	03	事業名 団体補助事業	根拠法令	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)					
事業概要											
【全体概要】 那珂市の観光振興のため、各種イベントの主催・共催並びに広報活動・観光施設整備等を行う。					【業務内容】 ・観光協会の事務・各種イベント(市内観光地めぐり、月見の会、夜桜等)						

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市民及び観光客						人口	人	55,835	55,986	55,887	55,500	55,300
								0	0	0	0	0
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
・イベント主催・共催・後援 ・観光PR活動 ・観光地保全及び整備						主催・共催したイベント数	回	9	5	5	5	5
						観光PR実施回数	回	29	30	30	30	30
						観光協会HP更新回数	回	30	52	100	100	100
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
・市民に那珂市の良さを知ってもらい郷土愛を育む・観光客に当市を知ってもらい観光客を増やす						年間観光入込客数	人	211,400	287,800	260,000	280,000	290,000
						年間観光協会HP閲覧数	人	61,484	22,496	80,000	80,000	80,000
						観光協会会員数	人	255	259	260	270	280
(2)投入量の推移						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	財源支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	
	事業費計(A)	千円	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	
人件費	千円	1,720	1,830	1,830	1,830	1,830	1,830	1,830	1,830	1,830	1,830	
正規職員			0.30人	0.35人	0.35人	0.35人	0.35人	0.35人	0.35人	0.35人	0.35人	
正規外職員	千円	561	694	694	694	694	694	694	694	694	694	
			0.70人	1.50人	1.50人	1.50人	1.50人	1.50人	1.50人	1.50人	1.50人	
人件費計(B)	千円	2,281	2,524	2,524	2,524	2,524	2,524	2,524	2,524	2,524	2,524	
投入量(A)+(B)	千円	5,781	6,024	6,024	6,024	6,024	6,024	6,024	6,024	6,024	6,024	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ			観光振興と文化の発展を図るため昭和31年に発足した。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			多年にわたるPR活動やインターネットの普及により、イベントが地域住民だけではなく市外・県外の住民に周知できるようになり、また高速道路整備により、市外から多くの観光客が訪れることができるようになった									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			・さらなる観光案内看板の設置・ホームページへ最新情報の更新・自主財源の確保・法人化する									

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート				作成日	平成26年	6月	9日	
							点検日	平成26年	6月	24日	
事務事業名	清水洞の上整備事業					事業類型	施設等整備				
担当部課G等	産業部 商工観光課			商工観光グループ		記入者氏名	課長補佐 萩野谷 真				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり					■ 実施計画 対象事業			
	施策名		3 地域資源を活かした観光の振興を図る								
	基本事業名		2 観光資源の発掘と活用								
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令	清水洞の上公園設置及び管理に関する条例			
			06	01	03	清水洞の上整備事業					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度		(平成26年度～平成28年度)				
事業概要											
【全体概要】 豊かな自然が残る清水洞の上地区を、様々な生物が生息し、市民がくつろげ、自然を生かした自然体験学習ができる貴重な場所として整備を進める。						【業務内容】 ・清水洞の上自然を守る会との連携・公園の維持管理 ・第2次計画区域の整備					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市民及び来園者						人口	人	55,835	55,986	55,700	55,500	55,300
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
公園内の維持管理及び清水洞の上自然を守る会との連携						守る会の作業回数	回	16	18	20	20	20
						パンフレット作成枚数	枚	1,500	2,000	2,500	3,000	3,000
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
・清水洞の上地区を知ってもらい観光客を増やす・郷土愛を育む・市民活動の活性化を図る						年間観光入込客数	人	211,400	287,800	260,000	280,000	290,000
						守る会会員数	人	159	162	180	200	200
						作業参加者数	人	250	280	400	400	400

(2)投入量の推移		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	3,300	3,300	
	その他	千円	0	100	0	0	0	0	
	一般財源	千円	1,853	165	10,652	20,652	9,352	40,656	
	事業費計(A)	千円	1,853	265	10,652	20,652	12,652	43,956	
人件費	千円	860	830	830	830	830			
正規職員	千円	860	830	830	830	830			
正規外職員	千円	0	0	0	0	0			
人件費計(B)	千円	1,543	830	830	830	830			
投入量(A)+(B)	千円	3,396	1,095	11,482	21,482	13,482			

(3)事務事業の環境変化・市民意見等	
①事業を始めたきっかけ	平成7年3月に制定した「清水洞の上地区整備研究調査報告書」に基づき、整備計画策定委員会を組織して整備に向けた取り組みを開始した。
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	・「清水洞の上自然を守る会」が発足し、市と共同して積極的な管理活動を行っている。
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	・より良い公園にしてほしい・次期整備工事着工を早期実現してほしい・「清水洞の上自然を守る会」が維持管理を継続できるのか(公園を拡大し場合を含む)・「清水洞の上自然を守る会」会員の高齢化が懸念される

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	9日			
						点検日	平成26年	6月	24日			
事務事業名	静峰ふるさと公園管理事業					事業類型	管理・運営					
担当部課G等	産業部 商工観光課		商工観光グループ		記入者氏名	主幹 磯野 剛志						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり					■ 実施計画 対象事業				
	施策名		3 地域資源を活かした観光の振興を図る									
	基本事業名		2 観光資源の発掘と活用									
予算科目	会計	01	款	06	項	01	目	03	事業名 静峰ふるさと公園管理事業	根拠法令	静峰ふるさと公園の設置及び管理に関する条例	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)					
事業概要												
【全体概要】 「日本のさくら名所100選」に選ばれている静峰ふるさと公園を訪れる人々が、快適に利用できるよう維持管理を行う。					【業務内容】 除草作業・樹木の剪定・グランドゴルフ場の管理・桜の植栽							

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市民及び観光客						人口	人	55,835	55,896	55,887	55,500	55,300
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
除草及び樹木の剪定・植栽等を行い、グランドゴルフ場を含め公園を良好な状態に維持管理する。						作業日数	日	308	308	309	308	308
						管理面積	ha	12	12	12	12	12
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
・来園者が快適かつ安心して利用できるようにする。						年間観光入込客数	人	211,400	287,800	260,000	280,000	290,000
						八重桜まつり入場者数	人	47,000	35,000	38,000	50,000	50,000
						グランドゴルフ利用者数	人	4,914	4,070	5,000	5,000	5,000
(2)投入量の推移						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	財源	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	944	783	900	900	900	0	0	0	0	
	一般財源	千円	11,328	10,393	11,369	11,369	11,369	0	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	12,272	11,176	12,269	12,269	12,269	0	0	0	0	
人件費	千円	1,115	1,080	1,080	1,080	1,080	0.20人	0.20人	0.20人	0.20人	0.20人	
正規職員	千円	8,636	3,194	3,194	3,194	3,194	6.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	
正規外職員	千円	9,751	4,274	4,274	4,274	4,274						
人件費計(B)	千円	22,023	15,450	16,543	16,543	16,543						
投入量(A)+(B)						千円	22,023	15,450	16,543	16,543	16,543	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ						町民の憩いの場を確保することを目的に開始した。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)						施設の経年劣化が進んでいる。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)						・きれいに管理されている。・園内にグランドゴルフ場の併設はいかがなものか。						

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み																	
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 	(前年度評価結果を踏まえた見直し内容) <ul style="list-style-type: none"> 春季以外に咲く花の植栽 八重桜まつり以外のイベント(夕涼みの会)の実施 															
		(予算への反映) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 削減 (事業費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(人件費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 増加 (事業費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(人件費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td colspan="3"><input checked="" type="checkbox"/> 反映なし</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円	(人件費)	0	千円	<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0	千円	(人件費)	0	千円	<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし		
<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円															
(人件費)	0	千円															
<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0	千円															
(人件費)	0	千円															
<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし																	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市が所管する公園の維持管理費は市の責務であり、市の木である「桜」を活用して那珂市のPRや観光客の勧誘を行っていることから妥当である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 新たな品種の桜を植栽し桜の名所としてレベルアップを図るとともに、春に特化した公園ではなく、四季を通じて集客力のある公園を目指すことで観光客の増加が見込まれる。
効率性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 本事業に類似事業はなく、廃止した場合には公園の荒地化や、市民憩いの場及び観光客の減少につながるため廃止はできない。
公平性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 借地している土地を買収することにより、将来的なコスト削減が可能であるものの、適切な維持管理を行うための事業費や人件費であるため削減できない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求めない事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求めない事業ではない 受益者は市民及び観光客であり、市の観光PRの場でもあることから妥当である。なお、グランドゴルフ利用者については、使用料を徴収しているため妥当である。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) →	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善																					
<input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 園内の桜の高齢化が進んでいるため、桜の植栽をする 春季以外の公園の集客増加策と活用法の検討を図る 地権者との継続的な公園用地(借地)交渉を図る																					
改革・改善による期待成果																						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">削減</td> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">成果</td> <td style="text-align: center;">向上</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">維持</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低下</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じ場合も記入) 園内の桜の状態を樹木医により診断する時期にきている。また、新たな品種の桜を植栽する必要がある。「しどりの湯」と併せて活用法を検討する。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	10日		
						点検日	平成26年	6月	24日		
事務事業名	八重桜まつり事業					事業類型	イベント・行事・各種講座教室等				
担当部課G等	産業部 商工観光課		商工観光グループ		記入者氏名	主幹 磯野 剛志					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり			■ 実施計画 対象事業					
	施策名		3 地域資源を活かした観光の振興を図る								
	基本事業名		1 観光イベントによる地域活性化								
予算科目	会計	01	款	06	項	01	目	03	事業名 八重桜まつり事業	根拠法令	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)					
事業概要											
【全体概要】 日本のさくら名所100選に選ばれている静峰ふるさと公園で、「八重桜まつり」としてイベントを開催することにより、観光客の誘致及び各種団体の自主活動の活性化を図る。					【業務内容】 イベントの運営の補助及びまつり期間の公園管理業務						

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市民及び観光客	人口	人	55,835	55,896	55,887	55,500	55,300
	来場者数(桜期間)	人	47,000	35,000	38,000	50,000	50,000
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
運営主体となる実行委員会への補助金支出、実行委員会への出席。駐車場警備、ゴミ処理、臨時トイレ借上げ等委託契約などまつり開催に伴う事務。	まつり開催日数	日	16	17	18	16	16
	イベント開催日数	日	2	3	3	2	2
	PR回数	回	4	4	5	5	5
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
・当市への観光客を増やす・市民の郷土愛を育む	イベント参加団体数(実数)	団体	76	73	63	80	80
	年間観光入込客数	人	211,400	287,800	260,000	280,000	290,000

(2)投入量の推移	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	3,554	3,246	3,900	3,900	3,900
	一般財源	千円	4,249	5,464	7,152	7,152	7,152
	事業費計(A)	千円	7,803	8,710	11,052	11,052	11,052
人件費	千円	1,720	1,660	1,660	1,660	1,660	
正職員		0.30人	0.30人	0.30人	0.30人	0.30人	
正規外職員	千円	0	0	0	0	0	
人件費計(B)	千円	1,720	1,660	1,660	1,660	1,660	
投入量(A)+(B)	千円	9,523	10,370	12,712	12,712	12,712	

(3)事務事業の環境変化・市民意見等

①事業を始めたきっかけ	町民の憩いの場を提供するために静峰ふるさと公園を造成し、観光客誘致のためイベントを開催した。
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	「日本のさくら名所100選」に選ばれていることや、長年にわたる実績やインターネットの普及により、このイベントを、地域住民だけではなく市外・県外の住民に周知できるようになり、また高速道路整備により、市
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	・桜だけではなく、四季を楽しめる公園にしてほしい。・継続して開催してほしい。

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	9日		
						点検日	平成26年	6月	24日		
事務事業名	白鳥保護事業					事業類型	その他				
担当部課G等	産業部 商工観光課		商工観光グループ			記入者氏名	主事 寺門 大輝				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり					■ 実施計画 対象事業			
	施策名		3 地域資源を活かした観光の振興を図る								
	基本事業名		2 観光資源の発掘と活用								
予算科目	会計	01	款	06	項	01	目	03	事業名 白鳥保護事業	根拠法令	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)					
事業概要											
【全体概要】 古徳沼及び一の関ため池に飛来する白鳥の保護啓発及び古徳沼における見学者のための施設管理						【業務内容】 ・飛来数確認・トイレや駐車場の維持管理・広報活動					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
・市民及び観光客・白鳥						見学者数(古徳沼)	人	10,819	9,355	20,000	20,000	20,000
						人口	人	55,835	55,986	55,700	55,500	55,300
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
館の確保、古徳沼駐車場及びトイレ維持管理、広報活動						市HP更新回数	回	10	15	20	20	20
						餌の譲受回数	回	32	255	30	30	30
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
・那珂市の知名度を上げ観光客を増やす。						最大白鳥飛来数(古徳沼)	羽	155	95	200	200	200
						最大白鳥飛来数(一ノ関)	羽	36	57	50	50	50
						年間観光入込客数	人	211,400	287,800	260,000	280,000	290,000
(2)投入量の推移						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	財源支金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	1,065	884	1,304	1,242	1,242	0	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	1,065	884	1,304	1,242	1,242	0	0	0	0	
人件費	千円	765	500	500	500	500	0	0	0	0	0	
正規職員	千円	765	500	500	500	500	0	0	0	0	0	
正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費計(B)	千円	765	500	500	500	500	0	0	0	0	0	
投入量(A)+(B)	千円	1,830	1,384	1,804	1,742	1,742	0	0	0	0	0	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ						古徳沼に飛来する白鳥の保護事業を行っていたことによる。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)						白鳥の飛来する場所が分散傾向にあり、特定の湖沼にて越冬することが減少した。また、白鳥の排泄物により水質汚染が懸念される。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)						・餌の量が足りないで白鳥が分散しているのではないかと懸念されている。・マナーのない釣人が残したゴミ等により白鳥が負傷する場合があるため釣り禁止にしてほしい。etc						

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	9日
						点検日	平成26年	6月	19日
事務事業名	一の閑溜池公園管理事業					事業類型	管理・運営		
担当部課G等	産業部 商工観光課		商工観光グループ		記入者氏名	主事 寺門 大輝			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり			■ 実施計画 対象事業			
	施策名		3 地域資源を活かした観光の振興を図る						
	基本事業名		2 観光資源の発掘と活用						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令		
			06	01	03	一の閑溜池公園管理事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ					<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	
事業概要									
【全体概要】 一の閑溜池公園及び曲がり屋の適正な維持管理					【業務内容】 公園の緑化管理及び施設設備の維持管理業務				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)									
・公園内の設備及び草木・公園利用者			一の閑溜池公園面積			m ²	17,955	17,955	17,955	17,955	17,955	
			樹木管理本数			本	3,040	3,040	3,040	3,040	3,040	
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
植栽の維持管理委託、各種設備維持管理			緑化管理回数			回	89	32	80	80	80	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)									
より良い環境を保ち、市民の憩いの場を提供するとともに、多くの方に来園してもらう。			設備の不具合発生件数			件	4	3	0	0	0	
			年間観光入込客数			人	211,400	287,800	260,000	280,000	290,000	
(2)投入量の推移						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	財源支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	13,466	5,838	10,292	9,892	9,892	9,892	9,892	9,892	9,892	
人件費	千円	860	830	830	830	830	830	830	830	830		
正規職員		0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人		
正規外職員	千円	683	0	0	0	0	0	0	0	0		
		0.50人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人		
人件費計(B)	千円	1,543	830	830	830	830	830	830	830	830		
投入量(A)+(B)	千円	15,009	6,668	11,122	10,722	10,722	10,722	10,722	10,722	10,722		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ			一の閑溜池親水公園完成後、施設の維持管理事業として開始した。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			那珂市曲がり屋が隣接し、冬季には白鳥が飛来する公園として周知されてきた。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			・池の水が汚い・白鳥の餌が少ないのでは									

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) (前年度評価結果を踏まえた見直し内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input checked="" type="checkbox"/> 削減 (事業費 0 千円) (人件費 595 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市の財産であるため、市が管理すべきものである。
有効性 評価	② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) イベント会場としても使用され、市役所庁舎前にある市に顔としての公園であることから、適正に管理することにより利用者の拡大が図られる。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性があり(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 都市計画課が管理する都市公園の管理事業との統廃合の余地はあるものの、事業を廃止した場合には、施設の良い状態が維持できなくなり、那珂市のイメージダウンにつながる。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに、単当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できますか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費及び人件費については、すでに最低限の費用であることから、これ以上の削減は難しい。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 那珂市のイメージアップ及び公園利用者の利便性向上を図るための事業であることから、受益者負担を求める事業ではない。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																					
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 平成26年度より曲がり屋管理事業を廃止し、一の閑溜池管理事業へ統廃合した。今後も有効性について検討する。	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>⊗</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>⊗</td> <td>⊗</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	⊗	低下		⊗	⊗
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	⊗																		
	低下		⊗	⊗																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じ場合も記入) 曲がり屋で展示される「つるしびな」を見に訪れる観光客は増加傾向にあり、新たな観光資源として、活性化に繋げていく。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	6日	
						点検日	平成26年	6月	24日	
事務事業名	地域資源創造事業					事業類型	その他			
担当部課G等	産業部 商工観光課		商工観光グループ		記入者氏名	課長補佐 萩野谷 真				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり					■ 実施計画 対象事業		
	施策名		3 地域資源を活かした観光の振興を図る							
	基本事業名		2 観光資源の発掘と活用							
予算科目	会計	01	款	06	項	01	目	03	事業名 地域資源創造事業	根拠法令
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成25年度～平成28年度)					
事業概要										
【全体概要】 市民が、普段生活している地域を新たな視点で見ることにより、地域資源を発見するとともに、地域を愛する郷土愛の醸成と新たな観光資源を創造し、地域の活性化に寄与する。					【業務内容】 事業取組の委託					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市民及び観光客						市民	人	55,835	55,986	55,887	55,500	55,300
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
地域資源を発見し、新たな観光資源を創造することで地域活性化に寄与する						地域資源創造事業成果物	式	0	0	1	1	1
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
那珂市への観光客を増やす						年間観光入込客数	人	211,400	287,800	260,000	280,000	290,000
(2)投入量の推移						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	財源	千円	0	352	4,230	0	0	0	0	0	4,595	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	0	0	0	1,000	1,000	2,000				
	事業費計(A)	千円	0	352	4,230	1,000	1,000	6,595				
人件費	千円	0	580	580	580	580	580	580	580	580	580	
正規職員	千円	0	0.00人	580	0.10人	580	0.10人	580	0.10人	580	0.10人	
正規外職員	千円	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	
人件費計(B)	千円	0	580	580	580	580	580	580	580	580	580	
投入量(A)+(B)		千円	0	932	4,810	1,580	1,580					
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ		地域資源を発見することで、新たな観光資源を創造して地域活性化に寄与させるため。										
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		平成25年度から2ヶ年の継続事業として委託したので特に変化はない。										
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		特になし										

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	13日							
点検日	平成26年					6月	19日									
事務事業名	特産品ブランド化推進事業					事業類型	委員会・審議会等									
担当部課G等	産業部 商工観光課		商工観光グループ		記入者氏名	主幹 生田目恵司										
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり					■ 実施計画 対象事業								
	施策名		2 地域に活力をもたらす商工業の振興を図る													
	基本事業名		1 商業の振興													
予算科目	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業名	特産品ブランド化推進事業	根拠法令					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 平成25年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)								
事業概要																
【全体概要】 特産品の付加価値向上及び競争力強化を図るため、品目ごとに定める認証基準に適合する「那珂市特産品ブランド」を認証して、確かな品質・技術を伝える地場産品である証をアピールし、消費者の信頼を高め、地場産業の活性化を図る。						【業務内容】 那珂市特産品のブランド認定システムの構築と運営										
1 現状把握の部(DOシート)																
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移																
											単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)												
・市内特産品を生産及び加工する事業者				商工会部会会員数(商業・サービス業)				人	648	644	644	644	644			
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)												
H25活動実績 推進協議会及び認証委員会の設立				申請件数				件	0	0	10	10	10			
H26活動計画 ・認証マーク募集及び決定 ・認証品募集及び認定																
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)												
事業者に対し、特産品の意識啓発を図り特産品の積極的な掘り起し及び開発を促進させ、特産品のイメージ向上と販路拡大をに繋がり、市の産業の発展に繋がる。				認証件数				件	0	0	10	10	10			
				年間商品販売額(H19商業統計販売額)				万円	7,651,240	7,651,240	7,651,240	7,451,240	7,451,240			
(2)投入量の推移																
単位																
24年度(実績)																
25年度(実績)																
26年度(見込)																
27年度(計画)																
28年度(計画)																
全体計画																
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	財源	千円	0	931	2,340	0	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	一般財源	千円	0	0	0	0	671	0	671	0	0	0				
	事業費計(A)	千円	0	931	2,340	671	671	0	671	0	0	0				
	人件費	千円	0	750	750	750	750	750	750	750	750	750				
正規職員	千円	0	0.00人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人					
正規外職員	千円	0	0.00人	0	0	0	0	0	0	0	0					
人件費計(B)	千円	0	750	750	750	750	750	750	750	750	750					
投入量(A)+(B)	千円	0	1,681	3,090	1,421	1,421	0	1,421	0	0	0					
(3)事務事業の環境変化・市民意見等																
①事業を始めたきっかけ			那珂市における地域資源を活用した商品づくり、それらに関する情報発信及び維持向上を図るため、地域資源のブランド化を効率的に推進し、地場産業の活性化に資するため。													
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			特になし													
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			特になし													

